

# 令和5年度 第1回施設長会 会議資料

(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

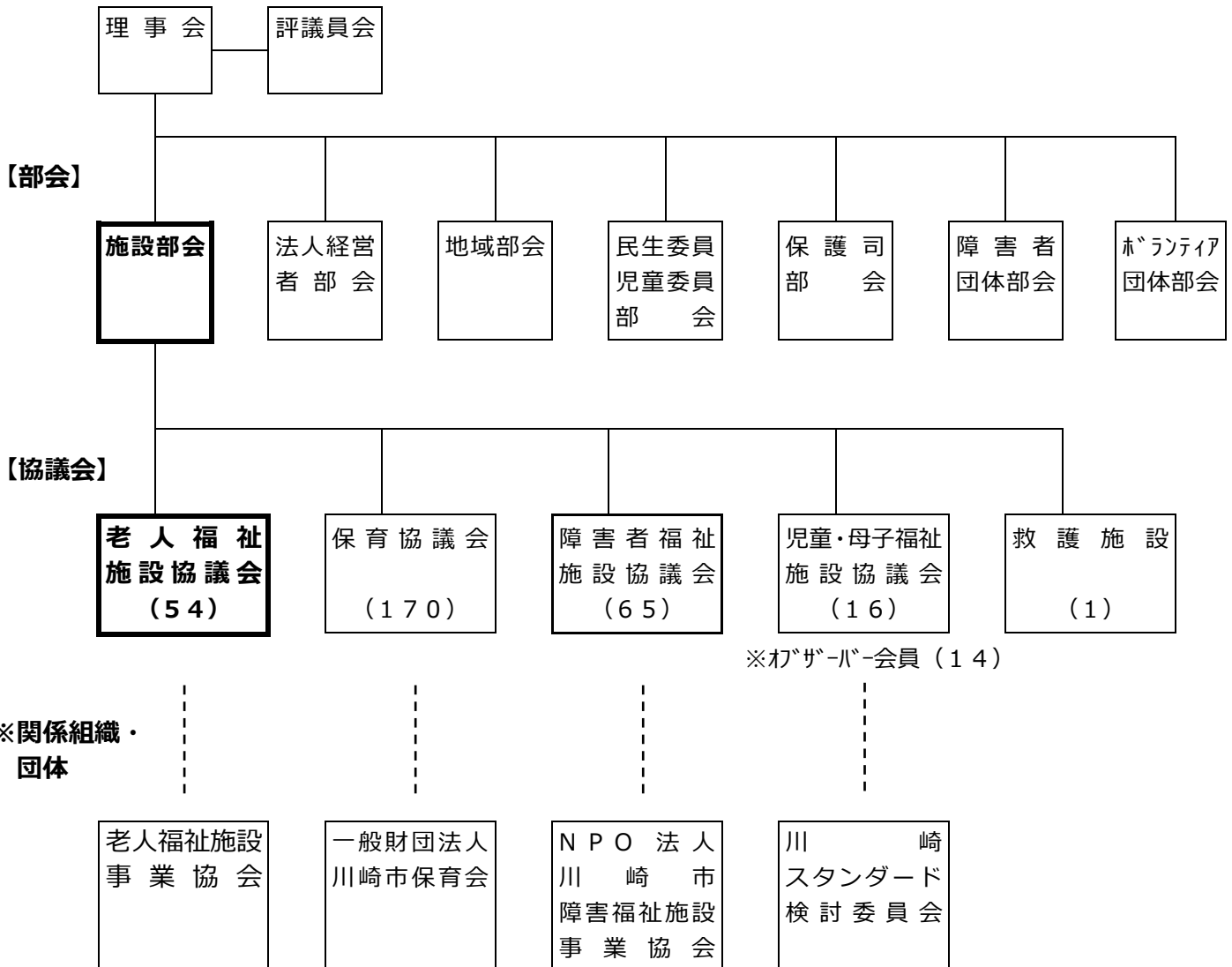
○連絡事項 川崎市社会福祉協議会人事異動等について …資料1

## — 議 題 —

- 1 役員の選任及び各プロジェクト委員の報告について …資料2
- 2 令和4年度事業報告（案）について …資料3
- 3 各プロジェクト委員会の進捗状況等について …資料4
- 4 情報交換会について …資料5
- 5 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会について …資料6・別添資料1
  - (1) 課題別プロジェクト会議（介護報酬改定・人材確保・災害）について
  - (2) 第21回かながわ高齢者福祉研究大会について
- 6 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について …資料7
- 7 その他
  - (1) 施設部会 …別紙参照
  - (2) 福祉人材バンク …別紙参照
  - (3) 総合研修センター …別紙参照

# 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会 組織図

## 【市社協内組織】



## ※老施協内組織

- 施設長会（老人福祉施設事業協会と合同開催）
- 正副会長等会議
- 災害プロジェクト委員会（平成 27 年度設置）
- 人材プロジェクト委員会（平成 29 年度設置）

※会員数は 2023 年 3 月末現在

令和5年度 川崎市社会福祉協議会事務局体制表

総務部	○広報機能を強化するため企画調整室に広報戦略の機能を追加	
	○人材バンク、総合研修センターを総務部へ⇒ 福祉人材の育成等に関することを総務部に統合	
福祉部	○在宅サービス事業課を地域推進課に統合 ○施設事業推進課、7区老人福祉（地域交流）センターを福祉部へ⇒福祉サービスに関することを福祉部に統合	
	○生活再建支援室の創設⇒新たに神奈川県社協から受託 特例貸付の借り受け者等への対応	
施設事業部	●廃止⇒組織のスリム化を図り、事業を総務部、福祉部へ振り分ける	
介護支援部	○介護支援課にエリアマネージャー2名 教育担当1名を配置する	
あんしんセンター	体制整備の見直し検討	

R5年度			変更内容	現行	
総務部	庶務課	法人運営、庶務、文書・法制、理事会・評議員会、会費徴収、表彰、労務、内部統制、人事、人材育成、事業報告・事業計画、第1種会員会議等に関すること。		総務部	庶務課
	経理課	会計経理、出納、契約、財務監査、財産管理・運用、寄付金の管理運営、予算、決算等に関すること。			経理課
	企画調整室	経営分析、企画調整、事業方針・地域福祉活動推進計画策定、広報戦略、新事業展開方策及び制度設計、社会福祉法人支援事業（法人経営者部会事業、第2種及び第3種会員会議）、地域生活支援SOSかわさき事業等に関すること。	広報戦略、ホームページに関することを追加		企画調整室
	総合福祉センター	総合福祉センターの管理運営に関すること。			総合福祉センター
	総合研修センター	総合研修センターの研修事業に関すること。			
	福祉人材バンク	福祉人材バンク事業、保育士修学支援貸付、ひとり親家庭貸付、総合福祉センター研修事業等に関すること。	施設事業部から移管		
福祉部	地域推進課	区社協支援、生活福祉資金、共同募金、市社協・各区社協地域福祉活動計画の調整、地域部会・民生委員児童委員部会・保護司部会等事業、第4・5・7・8種会員会議等に関すること。	地域推進課と在宅サービス事業課を統合	福祉部	地域推進課
		高齢者外出支援乗車事業含む在宅サービス事業等に関すること。			在宅サービス事業課
	ボランティア活動振興センター	ボランティアに関する全般・総合福祉センター情報バンク事業、団体活動支援、福祉基金、第9種及び10種会員会議、等に関すること。			ボランティア活動振興センター
	施設事業推進課	施設部会、第6種会員会議、振興資金返還、いこいの家の調整、老人福祉センターの総括に関すること。	施設事業部から移管		
	7区老人福祉（地域交流）センター	老人福祉センター事業等の運営			
	生活再建支援室	生活福祉資金特例貸付の借り受け者等への対応	※新設		
	施設事業部	廃止			施設事業部
			福祉人材バンク		
			施設事業推進課		
			7区老人福祉（地域交流）センター		
介護支援部	介護支援課	事業所の調整及びとりまとめに関すること。訪問介護員の管理及び雇用関係に関すること。		介護支援部	介護支援課
	7区 訪問（居宅）介護支援事業所	居宅介護支援事業・居宅介護等事業・自由介護事業他			7区 訪問（居宅）介護支援事業所
	3地域包括支援センター	地域包括支援センターの運営			3地域包括支援センター
あんしんセンター	運営課	日常生活自立支援事業の調整及びとりまとめに関すること。		あんしんセンター	運営課
	終活支援担当	終活事業に関すること。			終活支援担当
	成年後見支援センター	成年後見支援センターの運営に関すること。			成年後見支援センター
7区社会福祉協議会	地域課（いこいの家）	福祉を目的とする事業・普及啓発等・地区社協支援・共同募金・生活福祉資金・福祉パルの運営・老人いこいの家運営 他		7区社会福祉協議会	地域課（いこいの家）
	区あんしんセンター	日常生活自立支援事業・成年後見支援センター相談窓口等			区あんしんセンター

# 令和5年度 川崎市社会福祉協議会 関連職員の人事異動について

関連する役員、部課の職員・人事異動は次の通りです。

令和5年4月1日付

役職	現	前	備考
常務理事	邊見 洋之		
事務局長	高田 智幸		
総務部長	小澤 竜騎		
総務部企画調整室長	平林 秀敏		法人経営者部会 地域生活支援SOSかわさき事業
総務部 福祉人材バンク所長	山下 久美子		
総務部 総合研修センター所長	—	斎木 浩 (退職)	
総務部 総合研修センター課長	荻野 るりか		
施設事業部長 ※廃止	—	佐竹 恵子 (退職)	
福祉部長	中島 洋一		
福祉部 施設事業推進課課長	和田 真澄 (総務部総合福祉センタ ー)	織田めぐみ (年度途中退職)	大都市社会福祉施設協議会
施設事業推進課課員	金子 泰彰		施設部会 保育協議会 障害者福祉施設協議会
	鈴木 哲生 (川崎市あんしんセンター)	松永 剛 (かわさき老人福祉・ 地域交流センター)	老人福祉施設協議会 児童・母子福祉施設協議会
	戸倉 清和		老人福祉センター
福祉部 地域推進課課長	小田 浩範		
福祉部 生活再建推進室 ※新設	西田 圭佑		
福祉部 ボランティアセンター所長	儘田 哲郎 (宮前区社協)	田中 聰 (総務部庶務課)	
介護支援部長	丸山 美香		
あんしんセンター部長	筒井 康仁 (新規採用)	関川 真一 (退職)	



## 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期について

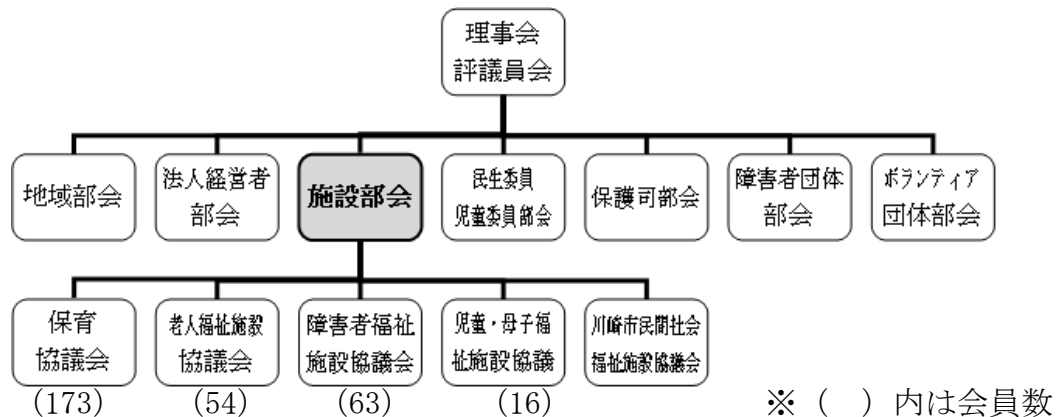
### 1 内容

川崎市社協の各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期については、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会部会規程第3条第4項により、2年となっております。

ただし、平成29年4月改正社会福祉法の施行もあり、各部会正副部会長（施設部会各協議会正副会長含む）の任期と市社協理事の改選年度が異なっておりました。

つきましては、施設部会を含め7つの部会の任期を本会理事の改選年度と揃えるため、令和4年度の役員改選における任期に限り、2年から1年に短縮することとする。

（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 組織図



（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 部会規程（抜粋）  
（正副部会長）

第3条 各部会に部会長1名、副部会長2名以内をおく。

2 部会長は会務を統括し、副部会長は、部会長に事故あるとき代行する。

3 正副部会長の選任は、各部会において互選とする。

4 正副部会長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠により就任した場合は、前任者の残任期間とする。

（参考）社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 理事等の任期について

種類／年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
理事		←→	←→	←→	←→
各部会正副部会長 （各協議会正副会長）	←→	←→	←→	←→	←→

## 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会運営要領

### (趣 旨)

第1条 この要領は、川崎市社会福祉協議会施設部会運営要綱に基づき設置される川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下「本協議会」という。）の運営について必要な事項を定める。

### (構 成)

第2条 本協議会は社会福祉法人川崎市社会福祉協議会会員である老人福祉施設で構成する。

### (役 員)

第3条 本協議会の円滑な運営を図るため、会長1名及び副会長2名を置く。

2 会長は会務を統括し、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

### (役員を選任)

第4条 会長の選任については、あらかじめ立候補期間を設け、立候補者の中から、施設長会において選任する。選任の方法については、施設長会においてその都度協議のうえ定める。

2 立候補がなかった場合は、施設長会において互選により選任する。

3 副会長は、会長が候補者を選出し、施設長会において選任する。

### (会 議)

第5条 本協議会会長は必要に応じ別表に定める会議を招集し、その議長となる。ただし、施設長会の議長は、その都度選任する。

### (委員会の設置)

第6条 本協議会は必要に応じ委員会を設置することができる。

### (その他)

第7条 この要領を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

2 この要領に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、施設長会で協議のうえ定める。

### 附 則

この要領は平成23年4月1日から施行する。

### 附 則

この改定要領は平成24年11月1日から施行する。

### 附 則

この改定要領は令和2年4月1日から施行する。

### (別 表)

会議名	構成
施設長会（総会含む）	本協議会会員施設の施設長
正副会長会議	正副会長

## 社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会会長の選任方法

### 《事務局》

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設事業部 施設事業推進課

### 《選任方法》

- 1 会長の選任については次の方法から順次行い、令和5年度第1回施設長会（4月19日（水）開催予定）において選任する。
  - (1) 立候補
  - (2) 会員施設による推薦
- 2 立候補については次のとおり扱うこととする。
  - (1) 会長に立候補する者は、次の期間内に所定の用紙に立候補理由を記し、事務局に提出する。  
〔立候補期間：2月20日（月）から3月3日（金）まで〕
  - (2) 立候補期間終了後、事務局から各会員施設へ立候補状況を報告し、立候補者の有無により次のとおり対応を行う。
    - ①立候補者がいる場合  
立候補者がいる場合は、第1回施設長会において立候補者による所信表明を行い、信任を諮る。なお、立候補者が複数いる場合には下記の投票方法により選任を行う。
    - ②立候補者がいない場合  
立候補者がいない場合は、次項3の推薦による選任を行う。
- 3 推薦については次のとおり扱うこととする。
  - (1) 上記の立候補期間内に会長への立候補がない場合には、各会員施設へ会長候補者の推薦依頼を行い、次の期間内に推薦を受け付ける。  
〔推薦期間：3月13日（月）から3月24日（金）まで〕
  - (2) 推薦期間終了後、事務局から各会員施設へ推薦状況を報告する。なお、推薦のあった候補者には、現行の役員又は事務局より事前の連絡を行う。
  - (3) 推薦のあった候補者については、第1回施設長会において信任を諮る。なお、候補者が複数いる場合には下記の投票方法により選任を行う。

### 《投票方法》

- (1) 直接無記名投票とする。
- (2) 上位1位の票数を得、かつその得票数が出席施設の過半数を超えた者を当選とする。
- (3) 投票の結果、上位1位の者が出席施設の過半数を超える票を得なかった場合は、第1回目の投票の上位2名を候補者とし、第2回目の投票を行い、上位1位の票を得た者を当選とする。
- (4) 投票にあたり、次のものは無効票とする。  
無記入、判読不可、候補者以外の氏名の記載、複数の候補者氏名の記載

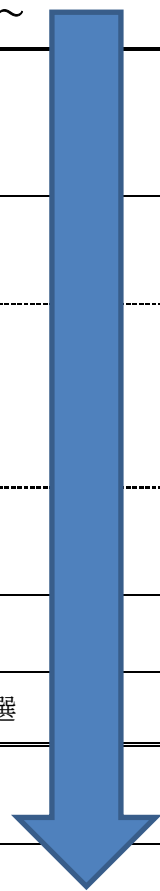
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会  
役員改選等のスケジュールについて

令和4年度

	会議	役員改選	委員改選（災害P・人材P）
12月	施設長会 (12/21 (水))		委員募集方法の確認
			委員の募集案内 《募集期間》 12/26 (月) から 1/20 (金) まで
1月			募集状況を各施設へ報告 (1/31 (火))
2月	施設長会 (2/15 (水))	会長選任方法の確認	新委員の報告 ※新委員の任期は 4/1～
		会長立候補者の募集案内 《立候補期間》 2/20 (月) から 3/3 (金) まで	
3月		立候補状況を各施設へ報告 (3/8 (水))	
		会長候補者の推薦依頼 ※立候補者がいない場合 《推薦期間》 3/13 (月) から 3/24 (金) まで	
		推薦状況を各施設へ報告 (3/29 (水))	

令和5年度

	会議	役員改選	委員改選
4月	正副会長等会議 (4/6 (木)) ※現行役員		
	施設長会 (4/19 (水))	会長の選任	新委員の報告 ※新委員の任期は 4/1～
5月		新役員体制状況を各施設へ報告 (5/31 (水))	
6月	正副会長等会議 (6/ ) ※新役員候補者		
	施設長会 (6/21 (水))	副会長等の選任	



令和5年3月8日

会員施設 施設長 各位

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会  
施設事業部 施設事業推進課

定期役員改選に伴う老人福祉施設協議会会長候補者の立候補状況について（報告）

日ごろから、川崎市社会福祉協議会施設部会の老人福祉施設協議会の運営及び諸事業の推進につきましては、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年2月20日付け4川社施第377号にてご通知させていただきました本協議会会長立候補者の募集について、立候補期間が終了いたしましたので、次のとおり立候補状況についてご報告いたします。

1 立候補期間

令和5年2月20日（月）から3月3日（金）まで

2 立候補状況

1名 … 特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎 施設長 清水完敏 氏

3 今後の予定

本年2月15日（水）開催の第6回施設長会にてご承認いただきました本協議会会長の選任方法に基づき、令和5年度第1回施設長会（4月19日（水）開催予定）において信任をお諮りいたします。

（お問合せ先）


施設事業部 施設事業推進課 担当／松永

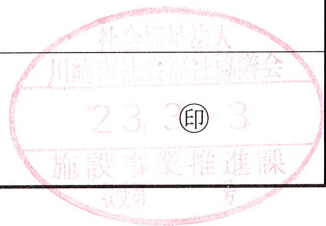
TEL：044-739-8717 ／ FAX：044-739-8737

メール：shisetsu-dantai@cs-w-kawasaki.or.jp

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会  
会長立候補届出用紙

提出日 令和5年 3月 3日

ふりがな	しみず まさとし
候補者氏名	清 水 完 敏 
施 設 名	社会福祉法人和楽会 特別養護老人ホーム夢見ヶ崎
<p>立候補理由（抱負）</p> <p>特別養護老人ホーム夢見ヶ崎の清水でございます。</p> <p>今期、会長に立候補させていただきました。よろしくお願いいたします。</p> <p>現在、私たち老人福祉施設を取り巻く環境は、大変厳しいものがあり、2025 年、2040 年に向けて運営の持続性を図る上で、職員一人ひとりが状況に応じて判断・実行できる「現場力」の強化が求められております。</p> <p>喫緊の課題としては、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人材の確保、育成、定着</li> <li>2. 介護現場の環境整備</li> <li>3. 地域包括ケアシステムの推進</li> <li>4. 防災・減災力の強化</li> <li>5. 建物維持管理</li> <li>6. 次期介護保険制度改定に向けて 等々が挙げられます。</li> </ol> <p>こうした各種の課題に対して、市内老人福祉施設が協議検討・情報交換等を実施し、組織間の更なる連携強化を図ることが必要であります。</p> <p>また、関係する神奈川県老人福祉施設協議会、関東ブロック、首都圏、大都市、全社協等、各種機関と情報を共有し、連携を図りながら、広く取組みを進めてまいります。</p> <p>とりわけ、令和5年度は、4年振りにかながわ高齢者福祉研究大会が対面での開催を予定されており、市内施設間の相互協力体制がより重要となります。</p> <p>そして、引き続き、老人福祉施設事業協会と連携・協力を図りながら、市内施設の現場力を高めて、川崎の福祉をアピールしていきたいと考えています。</p>	
受 理 日	令和5年 3月 3日



【立候補期間】令和5年2月20日（月）から3月3日（金）まで

【提 出 先】社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 施設事業部 施設事業推進課

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5

TEL：044-739-8717 FAX：044-739-8737

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会  
災害プロジェクト委員会設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下、「本協議会」という）災害プロジェクト委員会（以下、「本委員会」という。）の設置運営等に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 本委員会は、本協議会の会員施設が発災時にも業務を継続して運営出来るよう、また市内の高齢者施設が連携することにより、利用者への安定したサービスが継続出来るよう、つぎの事項について検討する。

- (1) 職員の安全と行動に関すること
- (2) 利用者の安全とサービスの継続に関すること
- (3) 施設機能の維持と機能低下の予防に関すること
- (4) 市内会員老人福祉施設との連携に関すること
- (5) その他本委員会が必要と認めたこと

(構 成)

第3条 本委員会の委員は次の者とし、概ね10名程度の委員を以って構成する。

- (1) 本協議会会員施設（施設長又は施設運営に関わる役職員） 7名程度
- (2) 委員の構成は川崎市内をいくつかのエリアに分け、それぞれの特性を考慮し選出する
- (3) その他本協議会会長が必要と認める者

2 本委員会の委員は会員施設からの公募による選出を行い、本協議会会長が委嘱する。

(役 員)

第4条 本委員会には委員の互選により、委員長1名及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長は本委員会を代表し、会の円滑な運営に努める。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年以内とし、本協議会会長が定めた期間とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第6条 本委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、本委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 本委員会で検討された事項は、直近の施設長会での報告を行い、必要に応じた協議を行う。

(事務局)

第7条 本委員会の事務局は、川崎市社会福祉協議会福祉部**施設・団体事業推進課**に置く。

(その他)

第8条 この要綱を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

- 2 この要綱に定めるもののほか、本委員会の運営に関し必要な事項は、本協議会会長が別に定める。

附 則

この要綱は平成27年6月17日から施行する。

この改正要綱は令和3年2月17日から施行する。



社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会  
災害プロジェクト委員会設置要綱（案）

（趣 旨）

第1条 この要綱は、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下、「本協議会」という）災害プロジェクト委員会（以下、「本委員会」という。）の設置運営等に関して必要な事項を定める。

（目 的）

第2条 本委員会は、本協議会の会員施設が発災時にも業務を継続して運営出来るよう、また市内の高齢者施設が連携することにより、利用者への安定したサービスが継続出来るよう、つぎの事項について検討する。

- (1) 職員の安全と行動に関すること
- (2) 利用者の安全とサービスの継続に関すること
- (3) 施設機能の維持と機能低下の予防に関すること
- (4) 市内会員老人福祉施設との連携に関すること
- (5) その他本委員会が必要と認めたこと

（構 成）

第3条 本委員会の委員は次の者とし、概ね10名程度の委員を以って構成する。

- (1) 本協議会会員施設（施設長又は施設運営に関わる役職員） 7名程度
- (2) 委員の構成は川崎市をいくつかのエリアに分け、それぞれの特性を考慮し選出する
- (3) その他本協議会会長が必要と認める者

2 本委員会の委員は会員施設からの公募による選出を行い、本協議会会長が委嘱する。

（役 員）

第4条 本委員会には委員の互選により、委員長1名及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長は本委員会を代表し、会の円滑な運営に努める。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

（委員の任期）

第5条 委員の任期は2年以内とし、本協議会会長が定めた期間とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会 議）

第6条 本委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、本委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 本委員会で検討された事項は、直近の施設長会での報告を行い、必要に応じた協議を行う。

（事務局）

第7条 本委員会の事務局は、川崎市社会福祉協議会福祉部施設事業推進課に置く。

（その他）

第8条 この要綱を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

- 2 この要綱に定めるもののほか、本委員会の運営に関し必要な事項は、本協議会会長が別に定める。

附 則

この要綱は平成27年6月17日から施行する。

この改正要綱は令和3年2月17日から施行する。

この改正要綱は令和5年4月19日から施行する。



社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会  
人材プロジェクト委員会設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下、「本協議会」という。）人材プロジェクト委員会（以下、「本委員会」という。）の設置運営等に関して必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 本委員会は、川崎市内の老人福祉施設のこれからの運営を担う新たな福祉人材の発掘及び育成とともに、既に働いている福祉人材がその専門性を活かして生き生きと活躍し、やりがいを持って働き続けられる環境を構築していくため、次の事項について検討する。

- (1) 新しい福祉人材の発掘及び育成に関すること
- (2) 市内で既に働いている福祉人材の養成及び定着に関すること
- (3) 介護福祉士養成校等との連携に関すること
- (4) 市内福祉人材養成関係機関との連携に関すること
- (5) 市内会員老人福祉施設との連携に関すること
- (6) その他本委員会が必要と認めたこと

(構 成)

第3条 本委員会の委員は次の者とし、概ね10名程度の委員を以って構成する。

- (1) 本協議会会員施設（施設長又は施設運営に関わる役職員） 7名程度
- (2) 川崎市社会福祉協議会施設事業部福祉人材バンク 1名
- (3) 川崎市社会福祉協議会施設事業部総合研修センター 1名
- (4) 川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課 1名
- (5) その他本協議会会長が必要と認める者

2 本委員会の委員は会員施設からの公募による選出を行い、本協議会会長が委嘱する。

(役 員)

第4条 本委員会には委員の互選により、委員長1名及び副委員長2名を置く。

- 2 委員長は本委員会を代表し、会の円滑な運営に努める。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年以内とし、本協議会会長が定めた期間とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第6条 本委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、本委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 本委員会で検討された事項は、直近の施設長会での報告を行い、必要に応じた協議を行う。

(事務局)

第7条 本委員会の事務局は、川崎市社会福祉協議会福祉部施設・団体事業推進課に置く。

(その他)

第8条 この要綱を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

- 2 この要綱に定めるもののほか、本委員会の運営に関し必要な事項は、本協議会会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年6月21日から施行する。

この改正要綱は、平成31年4月17日から施行する。

この改正要綱は、令和3年2月17日から施行する。

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会  
人材プロジェクト委員会設置要綱（案）

（趣 旨）

第1条 この要綱は、川崎市社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会（以下、「本協議会」という。）人材プロジェクト委員会（以下、「本委員会」という。）の設置運営等に関して必要な事項を定める。

（目 的）

第2条 本委員会は、川崎市内の老人福祉施設のこれからの運営を担う新たな福祉人材の発掘及び育成とともに、既に働いている福祉人材がその専門性を活かして生き生きと活躍し、やりがいを持って働き続けられる環境を構築していくため、次の事項について検討する。

- (1) 新しい福祉人材の発掘及び育成に関すること
- (2) 市内で既に働いている福祉人材の養成及び定着に関すること
- (3) 介護福祉士養成校等との連携に関すること
- (4) 市内福祉人材養成関係機関との連携に関すること
- (5) 市内会員老人福祉施設との連携に関すること
- (6) その他本委員会が必要と認めたこと

（構 成）

第3条 本委員会の委員は次の者とし、概ね10名程度の委員を以って構成する。

- (1) 本協議会会員施設（施設長又は施設運営に関わる役職員） 7名程度
- (2) その他本協議会会長が必要と認める者

2 本委員会の委員は会員施設からの公募による選出を行い、本協議会会長が委嘱する。

（役 員）

第4条 本委員会には委員の互選により、委員長1名及び副委員長2名を置く。

- 2 委員長は本委員会を代表し、会の円滑な運営に努める。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

（委員の任期）

第5条 委員の任期は2年以内とし、本協議会会長が定めた期間とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期途中で欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会 議）

第6条 本委員会は委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員長が必要と認めるときは、本委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
- 3 本委員会で検討された事項は、直近の施設長会での報告を行い、必要に応じた協議を行う。

（事務局）

第7条 本委員会の事務局は、川崎市社会福祉協議会福祉部施設事業推進課に置く。

（その他）

第8条 この要綱を変更する場合は、施設長会において決定するものとする。

- 2 この要綱に定めるもののほか、本委員会の運営に関し必要な事項は、本協議会会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年6月21日から施行する。

この改正要綱は、平成31年4月17日から施行する。

この改正要綱は、令和3年2月17日から施行する。

この改正要綱は、令和5年4月19日から施行する。

**社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会**  
**災害プロジェクト委員会 委員名簿**

■委員任期：令和５・６年度

(順不同・敬称略)

No.	役職	区	委員氏名	所属先	所属先 役 職
1		川崎	見原 啓一	ビオラ川崎	施設長
2		幸	寺下 敏幸	幸風苑	施設長
3		中原	湯前 親	いせうら	施設長
4		中原	佐藤 徹	ひらまの里	施設長
5		高津	登坂 太郎	和楽館	副施設長
6		宮前	稲垣 仁久	わらく桃の丘	施設長
7		多摩	山口 皓史	生田まほろば	施設長
8		多摩	藤谷 敬一郎	菅の里	施設長
9		麻生	佐藤 香一	潮見台みどりの丘	副施設長

◎委員長 ○副委員長

**社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会**  
**人材プロジェクト委員会 委員名簿**

■任期：令和５・６年度

(順不同・敬称略)

No.	役職	区	委員氏名	所属先	所属先 役 職
1		川崎	古敷谷 耕平	大師の里	施設長
2		川崎	伊藤 規子	しおん	施設長
3		中原	岩壁 信行	等々力	施設長
4		中原	和田 泰明	すみよし	施設長
5		高津	小林 秀夫	新緑の郷	施設長
6		高津	平山 みちる	すえなが	施設長
7		多摩	神田 けい子	生田広場	施設長
8		多摩	茶園 恵美子	多摩川の里	施設長
9		麻生	吉野 英明	金井原苑	苑長

◎委員長 ○副委員長

令和4年度 川崎市社会福祉協議会 施設部会  
老人福祉施設協議会 事業報告（案）

資料3

①施設長会

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
4 月 20 日	第 1 回	1 役員の選任について 2 令和3年度事業報告（案）について 3 各プロジェクト委員会の進捗状況等について 4 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 （1）課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について （2）第20回かながわ高齢者福祉研究大会について 5 その他	1 事務局より説明後、承認 2 事務局より説明後、承認 3 各委員より説明 4 各プロジェクト委員、実行委員長より説明 5 事務局より説明・報告 （1）第57回関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について （2）桐光学園高校生3人組による食糧支援について	て く の かわさき ホ ー ル ・ オンライン
6 月 15 日	第 2 回	1 役員等の選任について 2 各プロジェクト委員会の進捗状況について 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 （1）第20回かながわ高齢者福祉研究大会について （2）課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について 4 施設長会での情報交換について 5 その他  ※同日、情報交換会の開催	1 事務局より説明後、承認 2 各委員より説明 3 実行委員長、各プロジェクト委員より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 （1）第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会分科会発表施設について （2）食糧支援イベント（5/19）について ※情報交換会 「施設におけるコロナ対応について～第6波終了の今、第7波に備えて～」 ①情報交換 ②その他	て く の かわさき ホ ー ル ・ オンライン
8 月 24 日	第 3 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換について 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 （1）第20回かながわ高齢者福祉研究大会について （2）課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について 4 その他  ※同日、情報交換会の開催	1 各委員より説明 2 事務局より説明 3 実行委員長、各プロジェクト委員より説明 4 事務局より説明 施設部会（ふくしの出張講座）について ※情報交換会 「新型コロナウイルス第7波における施設の課題、問題点、各施設との連携方法について」 ①情報交換 ②その他	て く の かわさき ホ ー ル ・ オンライン
10 月 19 日	第 4 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について	1 各委員より説明 2 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
		2 施設長会での情報交換について 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別プロジェクト会議(災害・人材確保・介護報酬改定)について (2) 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会について 4 その他 ※同日、情報交換会の開催	3 各プロジェクト委員、実行委員長より説明 4 事務局より説明 ・施設部会研修会について ・災害ボランティアセンターについて ・「新型コロナ特例貸付から見える生活困窮のリアル」 ※情報交換会 「ICT機器の導入について」 ①情報交換 ②その他	センター 研修室 ・ オンライン
12 月 21 日	第 5 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換について 3 役員改選等について 4 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別プロジェクト会議(災害・人材確保・介護報酬改定)について (2) 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会について 5 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について 6 【中間報告】第 3 回神奈川県特養実態調査(川崎市版)について 7 その他	1 各委員より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明 4 各プロジェクト委員、実行委員長より説明 5 事務局より説明 6 調査会社から報告 7 総合研修センターより説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
2 月 15 日	第 6 回	1 人事異動について 2 各プロジェクト委員会の進捗状況について 3 施設長会での情報交換(説明会)について 4 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別プロジェクト会議(災害・人材確保・介護報酬改定)について (2) 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会について 5 役員改選等について 6 令和 4 年度事業計画(案)について 7 その他	1 事務局より説明 2 各委員より説明 3 事務局より説明 4 各プロジェクト委員、実行委員長より説明 5 事務局より説明後、承認 6 事務局より説明後、承認 7 総合研修センターより説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン

※川崎市老人福祉施設事業協会施設長会と合同実施。

②正副会長等会議

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
4 月 7 日	第 1 回	1 人事異動について 2 役員等の選任について 3 令和 3 年度事業報告（案）について 4 各プロジェクト委員会の進捗状況等について 5 情報交換会について 6 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について (2) 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会について 7 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会について	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 —以下は書面において確認—	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 会 議 室 ・ オンライン
6 月 3 日	第 2 回	1 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 第1回代表者会(5/25)について 2 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 委員会(5/31)について 3 施設長会での説明等について 4 役員等の選任について 5 各プロジェクト委員会の進捗状況報告について 6 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会について (2) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について 7 情報交換会について 8 その他	1 会長、事務局より説明 2 会長、事務局より説明 3 事務局より説明 4 事務局より説明 5 各委員より説明 6 各プロジェクト委員、実行委員より説明 7 事務局より説明 8 事務局より説明 第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会分科会発表施設について	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン
8 月 4 日	第 3 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換のテーマについて 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会について (2) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について 4 第 57 回関東ブロック老人福祉施設研究総会について 5 その他	1 各委員、事務局より説明 2 事務局より説明 3 会長、実行委員、事務局より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 (1) 動画セミナー「感染拡大第7波で施設が取り組むべきこと」について (2) 敬老訪問について (3) 民間社会福祉施設従事者福利厚生費について (4) 施設部会（ふくしの出張講座）	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
10 月 5 日	第 4 回	1 各プロジェクト委員会の進捗状況について 2 施設長会での情報交換のテーマについて 3 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について (2) 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会について 4 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 第2回代表者会(10/12)について 5 その他	1 各委員より説明 2 事務局より説明 3 各プロジェクト委員、実行委員より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 (1)神奈川工科大学について (2)施設部会研修会について	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
12 月 9 日	第 5 回	1 都道府県指定都市老協・デイ協会会長会議（関東ブロック）について 2 各プロジェクト委員会の進捗状況について 3 施設長会での情報交換のテーマについて 4 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について (2) 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会について 5 役員改選等について 6 その他	1 会長、事務局より説明 2 事務局より説明後、協議 3 会長、各委員、事務局より説明 4 各プロジェクト委員、実行委員より説明 5 事務局より説明 6 総合研修センターより説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー ミーティング ル ー ム ・ オンライン
2 月 6 日	第 6 回	1 人事異動について 2 各プロジェクト委員会の進捗状況について 3 施設長会の情報交換会について 4 神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会 (1) 課題別プロジェクト会議（災害・人材確保・介護報酬改定）について (2) 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会について 5 役員改選について 6 令和 5 年度事業計画（案）について 7 その他	1 事務局より説明 2 各委員、事務局より説明 3 各プロジェクト委員、実行委員より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 6 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン



③災害プロジェクト委員会

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
5 月 9 日	第 1 回	1 健康福祉局危機管理担当より 2 災害時等応援職員向けマニュアル（ひな形）について 3 今年度の災害プロジェクト委員会について 4 施設間連携について 5 その他	1 健康福祉局危機管理担当より説明後、協議 2 事務局より説明 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明 5 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室
7 月 6 日	打 合 せ	1 健康福祉局危機管理担当より 2 事業協会より 3 災害プロジェクト委員会より	1 健康福祉局危機管理担当より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明後	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 第 3 会 議 室
7 月 20 日	第 2 回	1 災害に関する研修会等の開催について 2 施設間連携及び情報共有について 3 各施設・各区単位での災害時シュミレーション訓練の検討及び実施 4 その他	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 会 議 室 ・ オンライン
8 月 19 日	第 3 回	1 情報伝達訓練（7/28）について 2 各事業進捗状況及び今後の取組について 3 その他	1 健康福祉局危機管理担当及び事業協会より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室
10 月 14 日	第 4 回	1 災害に関する研修会等の開催について 2 防災組織に関する規約（案） 3 その他 4 意見交換会	1 事務局より説明 2 事業協会より説明 3 事務局より説明 4 令和元年東日本台風により被災された「みやうち」のお話を伺いながら、効果的な施設間連携に向けての意見交換	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オンライン
11 月 28 日	研 修 会	災害に関する研修会 「災害時等における会員相互協力体制について」 講師 板橋区社会福祉法人等連絡会 事務局 一島寿樹 氏 (1) 講話 (2) 質疑応答 (3) 情報交換	参加者：33 件	オンライン
12 月 13 日	第 5 回	1 災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム(通称E-Welfiss)及び防災無線機(MCA 無線)を活用した情報伝達訓練の実施について 2 災害に関する研修会について 3 防災組織に関する規約について 4 今後の取組みについて 5 委員改選等について	1 健康福祉局危機管理担当より説明 2 事務局より説明 3 事業協会より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー ボ ラ ン テ ィ ア 交 流 室 ・ オンライン

月 日	事項	内 容	結 果	場 所
12 月 22 日	合 同 訓 練	<b>【物的支援シミュレーション訓練】</b> 1 E-Welfiss の連絡機能を使い、新規連絡作成 2 E-Welfiss の連絡機能を使い、施設間での連絡 3 上記のやり取りを踏まえ、各施設が被災想定施設へ向けて出発 4 被災想定施設の駐車場に各施設からの物資を持ち寄る	参加者： （多摩区） 菅の里、多摩川の里 生田まほろば （麻生区） 潮見台みどりの丘 （その他） 老人福祉施設事業協会、 老人福祉施設協議会	各参加施設 ・ 特別養護老人ホーム菅の里
1 月 31 日	第 6 回	1 災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム(通称E-Welfiss)及び防災無線機(MCA 無線)を活用した情報伝達訓練の報告について 2 川崎市二次避難所(福祉避難所)開設・運営(基本)マニュアルについて 3 合同訓練(災害時物資移送訓練)について 4 令和 5 年度事業計画(案)について 5 委員改選等について 6 情報交換	1 健康福祉局総務部危機管理担当より説明 2 健康福祉局総務部危機管理担当より説明 3 事務局、事業協会より説明 4 事務局より説明後、承認 5 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー ボ ラ ン テ ィ ア 交 流 室 ・ オ ン ラ イ ン

※「防災組織に関する規約」（老人福祉施設事業協会）に基づく防災班長会議を合同開催

※他、講師や行政等との災害に関する各種打合せを実施

#### ④人材プロジェクト委員会

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
6 月 2 日	ハローワークとの打合せ	1 人材プロジェクト委員会について 2 今後の福祉の仕事説明会について	1 事務局より説明 2 事務局より説明後、協議	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム
5 月 18 日	第 1 回	1 令和 4 年度川崎市における人材確保・育成に係る主な取り組みについて 2 小中学校校長会(5/2・5/9)でのガイドブック説明について 3 地域を支える福祉人材確保・育成定着のための取組方策 4 人材プロジェクト委員での今後の取り組みについて 5 外国人介護人材に関する説明会について 6 ハローワーク「福祉の仕事」説明会(5/27)について 7 今後のハローワーク「福祉の仕事」説明会について 8 その他	1 健康福祉局高齢者事業推進課より説明 2 事務局より説明 3 事務局より説明 4 事務局より説明 5 事務局より説明 6 事務局より説明 7 事務局より説明後、協議 8 事務局より説明 福祉人材バンク運営委員について	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー 研 修 室 ・ オ ン ラ イ ン

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
5 月 27 日	説 明 会 (ハローワーク 川崎)	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答 4 市内社会福祉施設の求人情報 の提供	参加者：23 名	ハローワーク 川 崎
6 月 27 日	外国人介護 人材に関する 打 合 せ	1 外国人介護人材に関する説明会 について 2 その他	1 事務局、担当委員より説明 後、協議 2 事務局より説明	オンライン
7 月 4 日	外国人介護 人材に関する 打 合 せ	1 質疑応答 2 その他	1 事前質問に基づき意見交換 2 事務局より説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター ミーティング ル ー ム ・ オンライン
7 月 8 日	説 明 会 (ハローワーク 川崎・川崎北)	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答 4 市内社会福祉施設の求人情報 の提供	参加者 ハローワーク川崎：20 名 総合福祉センター：26 名	ハローワーク 川 崎 ・ 川崎市総合 福祉センター 研 修 室
7 月 20 日	第 2 回	1 求職者と介護業界のマッチン グ支援事業（神奈川県） 2 ハローワーク「福祉の仕事」説 明会について 3 外国人介護人材説明会または 情報交換会について 4 その他	1 担当委員より説明 2 事務局、担当委員より説明 後、協議 3 事務局より説明後、協議 4 事務局より説明 今後の取り組みについて 各項目毎に担当委員を決め て進めて行く。	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン
9 月 16 日	説 明 会 (ハローワーク 川崎・川崎北)	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答 4 市内社会福祉施設の求人情報 の提供	参加者 ハローワーク川崎：20 名 川崎市総合福祉センター：24 名	ハローワーク 川 崎 ・ 川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室
9 月 21 日	第 3 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」 説明会について 2 今後の取り組み項目の進捗状 況について 3 その他	1 事務局、担当委員より説明 後、協議 2 担当委員から報告 3 総合研修センターから説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター ミーティング ル ー ム ・ オンライン
10 月 5 日	ハローワーク との打合せ	1 今後の福祉の仕事説明会・相談 会について 2 その他	参加者 ハローワーク職員 2 名 人材プロジェクト委員 名 (事務局含む)	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター ボランティア 交 流 室

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
11 月 16 日	説 明 会 (ハローワーク 川崎・川崎北)	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答 4 参加法人・施設からの説明	参加者 ハローワーク川崎：15 名 総合福祉センター：14 名	ハローワーク 川 崎 ・ 川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室
11 月 24 日	第 4 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」 説明会について 2 今後の取り組み項目の進捗状 況について 3 その他	1 事務局、担当委員より説明 後、協議 2 担当委員から報告 3 事務局から説明	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 会 議 室 ・ オンライン
1 月 18 日	説 明 会 (ハローワーク 川崎・川崎北)	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答 4 参加法人・施設からの説明	参加者 ハローワーク川崎：23 名 総合福祉センター：17 名	ハローワーク 川 崎 ・ 川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室
1 月 18 日	ハローワーク との 打 合 せ	1 今後の福祉の仕事説明会・相談 会について 2 その他	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明	ハローワーク 川 崎 ・ 川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室
1 月 18 日	第 5 回	1 人事異動について 2 関東ブロック老人福祉施設連 絡協議会・東京都高齢者福祉施 設協議会より 3 ハローワーク「福祉の仕事」 説明会について 4 今後の取り組み項目の進捗状 況について 5 令和 5 年度事業計画について	1 事務局より説明 2 事務局より説明 3 事務局、担当委員より説明 後、協議 4 担当委員より報告 5 事務局より説明後、承認	川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室 ・ オンライン
3 月 10 日	説 明 会 (ハローワーク 川崎・川崎北)	1 川崎市社会福祉協議会について (福祉の仕事・資格の案内) 2 施設でのケアの実際 3 福祉の現場からの声・質疑応答 4 参加法人・施設からの説明	参加者 ハローワーク川崎：24 名 総合福祉センター：24 名	ハローワーク 川 崎 ・ 川 崎 市 総 合 福 祉 セ ン ター 研 修 室

月 日	事 項	内 容	結 果	場 所
3 月 10 日	ハローワークとの打合せ	1 今後の福祉の仕事説明会・相談会について 2 その他	1 事務局より説明後、協議 2 事務局より説明	ハローワーク川崎 ・ 川崎市総合福祉センター研修室
3 月 15 日	第 6 回	1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 2 今後の取り組み項目の進捗状況について 3 令和5年度事業計画について 4 令和5年度ハローワーク「福祉の仕事」説明会について 5 その他	1 事務局、担当委員より説明 2 担当委員から報告 3 事務局から説明 4 事務局から説明、確認 5 事務局から説明後、協議 6 事務局から説明委員募集について	川崎市総合福祉センター会議室 ・ オンライン

※他、市内高校のインターンシップや人材に関する各種打合せを実施

⑤令和3年度決算に基づく特別養護老人ホーム収支状況調査について

- ・調査期間：令和4年7月13日～10月14日
- ・回答状況：39施設（調査対象：56施設）／回答率69.6%

⑥関東ブロック・首都圏・神奈川県等老人福祉組織関係

・関東ブロック老人福祉施設連絡協議会

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
5 月 25 日	第 1 回 関東ブロック 老人福祉施設 連絡協議会 代 表 者 会	1 令和3年度事業報告について 2 令和3年度一般会計収支決算について 3 副会長の選出について 4 全国老人福祉施設大会・研究会議について 5 第57回関東ブロック老人福祉施設研究総会（山梨大会）について	清水会長	オンライン
9 月 1 日 ～ 9 月 30 日	第57回関東 ブロック老人 福祉施設研究 総会・第12回 山梨県老人福 祉施設研究総 会合同大会 （山梨大会）	1 オープニングムービー 2 式典 3 基調報告 「全国老人福祉施設協議会 会長 平石朗氏」 4 記念対談「日本航空高校男子バレーボール部 監督 月岡裕二氏」 5 分科会研究発表（15分×82題） 【第4分科会（養護・軽費・ケアハウスの課題と方向性）】 ・すえなが（ケアハウス） 「自立型ケアハウスにおけるコロナ感染予防対策の実績と課題～新型コロナウイルス感染症予防対策と利用者支援の両立について～」 【第5分科会（経営管理に関する取組）】 ・多摩川の里（特養） 「認知症カフェは誰にでも開かれた交流の場～『ほっこりカフェ』の開催と継続のために～」	会員施設等 参加人数： 831名	オンライン

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
10 月 12 日	第 2 回 関東ブロック 老人福祉施設 連絡協議会 代 表 者 会	1 講演「24 年改正介護保険法と報酬改定を考 える」－淑徳大学総合政策学部社会福祉学科 教授 結城康博氏 2 全国老人福祉施設協議会代議員等の選任に 関する制度に係る課題について・意見交換会 3 第 57 回関東ブロック研究総会（山梨大会） について 4 第 58 回関東ブロック研究総会（群馬大会） の開催について 5 令和 4 年度カントリーミーティング（静岡 大会）の開催について	清水会長	オンライン
11 月 24 日	都道府県指定 都市老施協・ デイ協会長会議 （関東ブロック）	1 全国老施協の令和 4 年度事業の実施状況に ついて 2 代議員等の選出に係る課題整理について 3 全国老施協で今後取り組む事項等について	白井副会長	オンライン
2 月 28 日	第 3 回 関東ブロック 老人福祉施設 連絡協議会 代 表 者 会	1 令和 5-6 年度全国老施協地域ブロック理事 候補者の推薦について 2 第 57 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 （山梨大会）について 3 第 58 回関東ブロック老人福祉施設研究総会 （群馬大会）について	清水会長	オンライン

・首都圏高齢者福祉協議会  
未実施

・神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会  
県老施協委員：清水完敏氏（夢見ヶ崎）、藤田茂樹氏（潮見台みどりの丘）、  
白井裕一氏（富士見プラザ）、牧田正之氏（多摩川の里）、平山みちる（鷺ヶ峯）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
5 月 31 日	第 1 回 委 員 会	1 改選に伴う正副会長・委員の選任について 2 第 2 回委員会・総会・研修会について 3 令和 3 年度事業報告並びに収支決算（案）に ついて 4 令和 4 年度補正予算（案）について 5 要望書に関する対応状況について 6 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況 について	県老施協委員	ホテル横浜 キャメロッ トジャパン

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
6 月 28 日	第 2 回 会 ・ 第 1 回 会 ・ 第 1 回 会 研 修 会	1 令和 3 年度事業報告並びに収支決算（案）について 2 令和 4 年度補正予算（案）について 3 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況について 4 要望書に関する対応状況について 5 改選に伴う正副会長・委員の選任について  【研修会】 テーマ： 「神奈川県における高齢者施設での新型コロナウイルス感染対策」 講 師： 神奈川県 健康医療局 医療危機対策本部室 ※動画配信：8 月 24 日	県 老 施 協 会 員 施 設 等	崎 陽 軒 本 店
9 月 14 日	第 3 回 会 委 員 会	1 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会開催結果について 2 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会の進め方について 3 課題別プロジェクト会議について	県老施協委員	崎 陽 軒 本 店
2 月 17 日	第 4 回 会 委 員 会	1 任期満了に伴う委員改選について 2 令和 5 年度事業計画並びに収支予算（案）について 3 課題別プロジェクト会議の進捗状況について 4 第 2 回総会・研修会について 5 県社協政策提言活動への協力について 6 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況について	県老施協委員	かながわ県民センター
3 月 2 日	第 2 回 会 総 会	1 任期満了に伴う委員改選について 2 令和 5 年度事業計画並びに収支予算（案）について 3 課題別プロジェクト会議の進捗状況について 4 県社協政策提言活動への協力について 5 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況について	県老施協委員	崎 陽 軒 本 店
3 月 23 日	第 3 回 会 研 修 会	テーマ： 「新型コロナウイルス感染症における高齢者施設での感染対策」 講 師： 神奈川県 健康医療局 医療危機対策本部室 クラスター対策班	県 老 施 協 会 員 施 設 等	オンライン
月 日	事 項	内 容	出席等	場 所

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
4 月 26 日 5 月 31 日 6 月 17 日 8 月 19 日 1 月 17 日	正 副 会 長 等 会 議	1 役員改選進捗状況・スケジュールについて 2 今後の会議予定について 3 高齢者施設等への無料 PCR 検査事業にかかるアンケートについて 4 県社協政策提言活動への協力について 5 第20回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況について 6 第2回委員会・総会・研修会について 7 令和3年度事業報告並びに収支決算（案）について 8 令和4年度補正予算（案）について 9 要望書に関する対応状況について 10 正副会長の選任について 11 第20回かながわ高齢者福祉研究大会開催結果について 12 第21回かながわ高齢者福祉研究大会の進め方について 13 課題別プロジェクト会議について 14 任期満了に伴う委員改選について 15 令和5年度事業計画および収支予算（案）について 16 課題別プロジェクト会議について 17 第2回総会・研修会について 18 第21回かながわ高齢者福祉研究大会進捗状況について	清 水 会 長	県社会福祉 セ ン タ ー ・ ホテル横浜 キャメロッ トジャパン ・ 崎陽軒本店 ・ かながわ県 民センター

・第20回かながわ高齢者福祉研究大会

実行委員：牧田正之氏（多摩川の里）、己斐聡美氏（こむかい）、小林秀夫氏（新緑の郷）、  
平本正志氏（すえなが）、白井裕一氏（富士見プラザ）、植田裕央氏（すみよし）、  
藤谷敬一郎氏（菅の里）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
4 月 26 日	第 4 回 実 行 委 員 会	1 全体の確認事項について 2 係別打合せ 3 研究発表審査員の依頼について 4 研究発表表彰式の開催について	正 副 会 長 等 運 営 委 員 実 行 委 員	ホテル横浜 キャメロッ トジャパン
6 月 30 日 ～ 7 月 31 日	第20回かなが わ高齢者福祉 研 究 大 会 ※ 合 同 大 会	1 研究発表（15分×60題） 【テーマ4（ターミナルケア・医療との連携）】 ・しゃんぐりら 「その人らしさの中で最期を～加齢に伴う 様々な症状を理解して」 【テーマ6（アクティビティ・リハビリ・レク リエーション）】 ・新緑の郷 「手作りの100歳お祝い会～コロナ渦で個別 処遇を開催するために」 2 介護技術発表（20分×7題） 【テーマ（音楽療法）】 ・金井原苑 「入居者さんが『音楽屋さん』に参加すること で得られる効果について」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 研究発表優秀賞表彰式は中止とし、優秀賞受賞 者への賞状発送に代えて表彰を実施した	会 員 施 設 等 参 加 人 数： 582 件	オンライン



月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
9 月 14 日	第 5 回 実行委員会	1 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会開催結果について 2 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会の進め方について	正副会長等 運営委員 実行委員	崎陽軒本店

・第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会

実行委員：平山みちる氏（鷲ヶ峰）、和田泰明氏（すみよし）、藤谷敬一郎氏（菅の里）、  
古敷谷耕平氏（大師の里）、高橋照比古氏（太陽の園）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
10 月 25 日	第 1 回 実行委員会	1 実行委員長の選出について 2 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会の開催報告・収支決算見込について 3 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会の企画・収支予算（案）について 4 係別確認事項について	正副会長等 運営委員 実行委員	県社会福祉センター
11 月 29 日	第 2 回 実行委員会	1 企画および収支予算（案）について 2 参加者目標および参加費の設定について 3 周知方法・印刷物等について 4 SNS の活用について 5 係別確認事項について	正副会長等 運営委員 実行委員	崎陽軒本店
2 月 17 日	第 3 回 実行委員会	1 進捗状況・各種発表の申込状況について 2 外国人実習生等に関する企画について 3 Twitter による広報活動について 4 係別確認事項について	正副会長等 運営委員 実行委員	かながわ県民センター
3 月 29 日	研究発表事前説明会・プレゼンテーション研修会	【テーマ】 研究発表の考え方と手法-プレゼンテーション力を磨こう- 【講師】 東京工芸大学芸術学部教授 大島武氏	研究発表施設	かながわ県民センター

・課題別プロジェクト会議

課題別プロジェクト委員：

【介護報酬改定】白井裕一氏（富士見プラザ）、関口英志氏（おだかの郷）

【人材確保】清水完敏氏（夢見ヶ崎）、古敷谷耕平氏（大師の里）、岩壁信行氏（等々力）

【災害】平本正志氏（すえなが）、牧田正之氏（多摩川の里）、見原啓一（ビオラ川崎）

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
6 月 8 日 11 月 9 日 1 月 18 日	介護報酬改定 対応 プロジェクト 会議	1 各ブロックでの取組状況及び今後のスケジュールについて 2 共通項目の検討について 3 実態調査に関する各ブロックでの取組状況について 4 報告書作成の方針について 5 報告書の作成について 6 今後のスケジュールについて	プロジェクト 委員	県社会福祉センター
11 月 16 日	人 材 確 保 対 応 プロジェクト 会 議	1 検討課題の振り返りについて 2 第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会施設紹介コーナーの活用について 3 福祉人材センターポータルサイト「介護福祉の仕事紹介」への協力依頼について	プロジェクト 委員	オンライン

月 日	事 項	内 容	出席等	場 所
11 月 14 日	災 害 対 応 プロジェクト 会 議	1 各ブロックの取組状況について 2 現場向け BCP 策定・運用に関する取組の検討について 3 今後の取り組みの方向性について	プロジェクト 委 員	オンライン
3 月 2 日	研 修 会 ※ 第 2 回 県 老施協研修会 と し て	テーマ： 高齢者施設における風水害への備え－BCP の策定 と運用を考える－ 講 師： 株式会社 CoAct 代表取締役 渡嘉敷唯之氏	県 老 施 協 会 員 施 設 等	崎陽軒本店

【調査・発行物・動画配信等一覧】

- (1) 令和 3 年度決算に基づく特別養護老人ホーム収支状況調査
- (2) 災害に関する研修会【動画配信】  
「災害時等における会員相互協力体制について」
- (3) 合同訓練【発行物・動画配信】  
「多摩区麻生区連携－災害時物資移送訓練」

## 各プロジェクト委員会の進捗状況について

### 1 災害プロジェクト委員会

#### (1) 委員会等実施状況

第 6 回 / 1 月 3 1 日（火）1 4 時～ ※防災班長会議と合同開催

協議概要：

##### ①行政説明

- ・災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-Welfiss）及び防災無線機（MCA 無線）を活用した情報伝達訓練の報告について
- ・川崎市二次避難所（福祉避難所）開設・運営（基本）マニュアルについて

##### ②合同訓練（災害時物資移送訓練）について

→ 次頁以降参照

※動画配信については、各施設あてにメール送付済み（2/19）

##### ③令和 5 年度事業計画について

###### ○災害に関する研修会等の開催について

- ・BCP 策定状況の調査、必要に応じてフォローアップ研修会を開催する。
- ・市内の施設間連携を進めていくため他都市の取組み等を聞き、災害時に同じ地域の施設間で協力できることを再考する契機となる研修会の開催や情報提供を行う。

###### ○施設間連携及び情報共有について（川崎市内施設での施設間連携）

- ・「非常災害時の相互の応援に関する規約」や「災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-Welfiss）」を運用し、実効性のある施設間連携を推進する。
- ・川崎市内の施設間連携及び情報共有をより一層進めていくため、他都市との情報交換や意見交換を実施する。

###### ○各施設・各区単位での災害時シミュレーション訓練の検討及び実施について

- ・令和元年度に実施した福祉施設初動訓練、二次避難所開設訓練、令和 3 年度に作成した「災害時等応援職員向けマニュアル（ひな形）」、令和 4 年度に実施した「合同訓練（災害時物資移送訓練）」を参考に、各施設・近隣施設（区単位）で取り組めるシナリオ等の検討及び訓練を実施する。
- ・川崎市の情報共有システムを活用し、近隣施設（区単位やエリア単位）等との**情報伝達訓練を定期的に実施し、**災害を想定した実効性のある施設間連携を推進する。

###### ○その他

- ・その他、必要な事業を行う

## 報告「非常災害時の相互の応援に関する規約」に基づく合同訓練

### 1 目 的

災害に関する研修会（11/28）での情報交換を契機として、今回はその情報交換に参加していた施設（菅の里・多摩川の里・ヴィラージュ川崎・生田まほろば・潮見台みどりの丘）を中心に、川崎市が行う情報伝達訓練（12/22）とあわせて物的支援のシミュレーション訓練を試験的に行う。

今後の相互応援体制を構築するにあたり、区域・市域でのシミュレーション訓練に資するものにするため、当日の様子は参加施設の了解の上、記録（写真や映像）し、後日情報共有する。

2 日時 12/22（木）14時30分から16時まで ※情報伝達訓練終了後

3 場所 （1）各施設

（2）特別養護老人ホーム菅の里 駐車場 ※被災想定施設

4 対象 多摩区（菅の里・多摩川の里・ヴィラージュ川崎、生田まほろば）  
麻生区（潮見台みどりの丘）

5 内容 （1）E-Welfissの連絡機能を使い、施設間での連絡体制構築  
（2）施設間での連絡を踏まえ、各施設が菅の里へ向けて出発  
（3）その他

6 配信 （1）ショートバージョン ※6分15秒  
<https://youtu.be/PsMwkiWHu-k>  
（2）フルバージョン ※19分30秒  
<https://youtu.be/4hhhVTsQ9P0>



### 当日の意見交換について（訓練の振り返りと今後の対応）

- 1 円滑な相互支援
- 2 携帯端末によるE-Welfissの利用
- 3 浸水被害の想定
- 4 グループチャットの立上げ等、E-Welfiss利用の判断の難しさ
- 5 E-Welfissの制約

「対応済み」後に別の被害が生じても2回目の「支援要請」ができない

- 6 「支援要請」への対応状況に関する情報の共有
- 7 E-Welfiss改修の必要性

「対応済み」後の「支援要請」を可とすべき

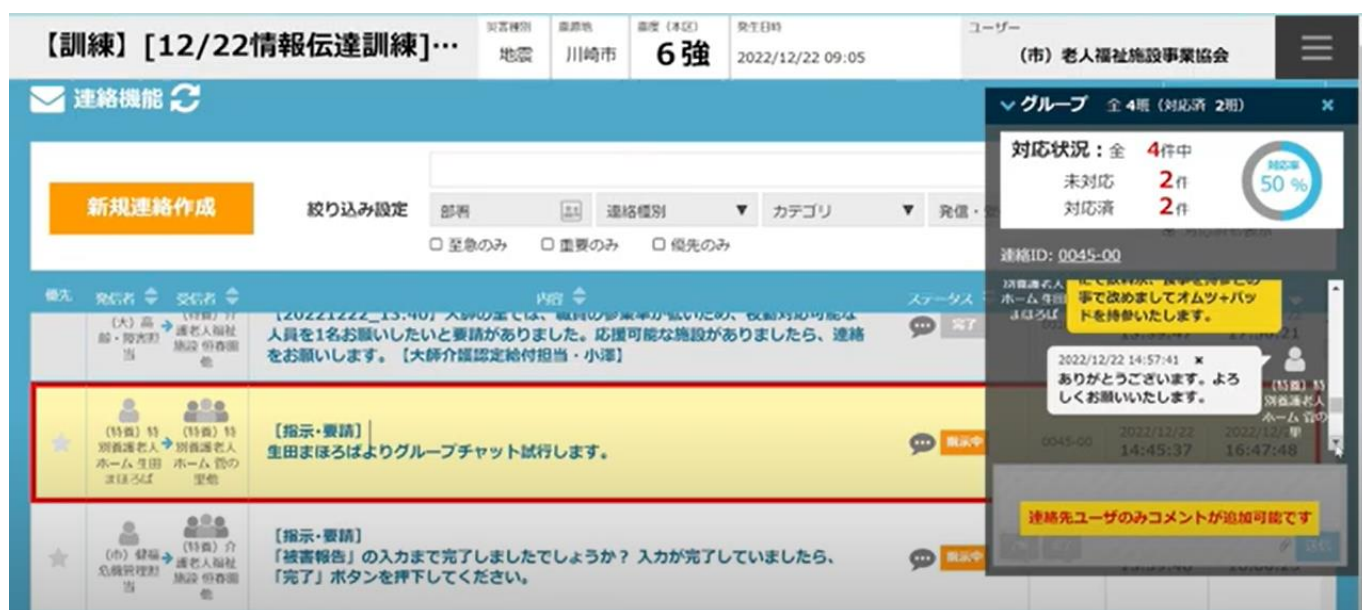
# 災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称E-Welfiss）を 活用した情報伝達訓練及び物資移送訓練等について（案）

## 1 目的

「非常災害時の相互の応援に関する規約」や「災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称E-Welfiss）」を運用し、近隣施設（区単位やエリア単位）等との情報伝達訓練及び物資移送訓練等を実施し、災害を想定した実効性のある施設間連携を推進する。

## 2 内容

- (1) E-Welfissの連絡機能を使い、施設間での連絡体制構築
- (2) 施設間での連絡を踏まえ、各施設が被災施設へ向けて出発
- (3) その他



## 3 スケジュール

### 案①毎月

- ・システムに慣れるためにも、毎月実施する。
- ただし、参加については各施設にお任せする

### 案② 2ヶ月に一回（偶数月第2水曜日開催予定）

### 案③ 2ヶ月に一回（偶数月とし、開催日については各区、エリアで相談）

- ・施設の実情を考慮すると、2ヶ月に一回が現実的ではないか
- ・偶数月第2水曜日と設定してしまった方が、予定が立てやすいか

### ※参考

R4年度は行政主導の訓練が全市で2回、各区で1回開催（区により異なる）

老人福祉施設協議会 年間スケジュール予定 ※訓練は2ヶ月に一回で想定

月	正副会長 等会議	施設長会	人材P 委員会	人材P HW	災害P 委員会	災害P 訓練	内容（案）
4	○	4/19					施設長会での情報交換で訓練内容等の検討
5			5/17	5/19	第1回		※情報交換で出た意見を踏まえ第1回委員会開催
6	○	6/21				●	各区ごと ※物資移送訓練あり
7			7/19	7/14			
8	○	8/23				●	エリアごと（南・中・北）
9			9/20	9/15			
10	○	10/18				●	各区ごと ※物資移送訓練あり
11			11/15	11/8			
12	○	12/20				●	エリアごと（南・中・北）
1			1/17	1/19			
2	○	2/21				●	各区ごと ※物資移送訓練あり
3			3/20	3/8			

(6回) (6回) (6回) (6回) (4回) (6回) 計36回

※正副会長等会議は、施設長会がある偶数月初旬に開催予定

※施設長会は、偶数月第3水曜日開催予定（8月のみ第4水曜日）

※人材P委員会は、奇数月第3水曜日開催予定

※人材PのHW説明会・相談会は、年6回開催予定

※災害P委員会は、議題等に応じて適宜開催（年4回程度）

## 1 人材プロジェクト委員会

### (1) 委員会等実施状況

第6回 / 3月15日(水) 14時～

### (2) 報告・協議概要

①ハローワーク「福祉の仕事」説明会について …次頁以降参照

②今後の取り組み項目の進捗状況報告について …次頁以降参照

### ③令和5年度事業計画について

#### 1 会議

奇数月第3水曜日の午後2時から開催(原則)

#### 2 活動内容

##### (1) 人材プロジェクト委員会

- ・各検討事項の共有及び協議、全体での事業実施
- ・福祉人材バンク、総合研修センター、川崎市高齢者事業推進課、川崎市老人福祉施設事業協会等の関係機関との連携及び実施事業への協力

##### (2) 重点取組

###### 人材発掘

- ・小中学校、小中学生に向けての取組(ガイドブック広報・オンライン交流など)
- ・高等学校、高校生、大学、大学生に向けての取組  
(キャリアガイダンスやアルバイト情報等の広報)
- ・地域の介護(福祉)人材発掘に向けた体制づくり(区社協等との協働)
- ・関係機関(ハローワーク等)との連携・協力

###### 人材確保

- ・外国人介護人材に関する情報交換会を開催  
(既に外国人介護人材の受け入れ等を始めている施設のお話 他)
- ・多種多様な働き方(シニア層、障害者雇用等)をしている施設紹介
- ・他都市の人材確保に成功した取組みについての情報収集、提供
- ・他都市の新型コロナウイルスを踏まえた求人活動について

###### 人材育成・定着

- ・既に働いている職員を対象とした研修の検討や研修参加促進に向けた取組
- ・自施設での人材育成・定着に目を向けられるような施設長への働きかけ
- ・職員の負担軽減のための介護福祉機器・ロボットの導入について

**次回： 5月17日(水) 14時～エポックなかはら**

令和4年度 人材プロジェクト委員会 各項目の取り組み状況

(第6回委員会)

人材発掘		担当委員等		取り組み状況	今後の取り組みについて	回数
①	小中学校、小中学生に向けての取組(ガイドブック広報・オンライン交流など)	古敷谷委員長		ガイドブック広報（5/2 中学校長会 5/9 小学校長会）	ガイドブックの改訂について検討 （改訂の時期、内容等）	2
②	高等学校、高校生、大学、大学生に向けての取組 （キャリアガイダンスやアルバイト情報等の広報）	小林委員	山下委員	市内高校定時制職員との打合せ(7/28, 9/13, 10/6) 学生アルバイト雇用状況の調査 他都市の状況調査	令和5年度に向けて、学生アルバイト募集情報の とりまとめ、発信を検討	5
③	地域の介護（福祉）人材発掘に向けた体制づくり （区社協等との協働）	伊藤委員	吉野委員	担当委員間による打ち合わせ（9/21, 11/9）		2
④	関係機関(ハローワーク等)との連携・協力→説明会、相談会への協力	古敷谷委員長	伊藤委員	『福祉の仕事』説明会・相談会』（5/27, 7/8, 9/16, 11/16, 1/13, 3/10） ハローワークとの打ち合わせ（6/2, 9/16, 10/5, 1/13, 3/10） （社協内の打ち合わせ（10回））	『福祉の仕事』説明・相談会（5/19）	2 1
		平山副委員長	神田委員			
人材確保						
①	外国人介護人材に関する情報交換会を開催 (既に外国人人材の受け入れ等を始めている施設のお話 他)	古敷谷委員長	岩壁副委員長 松岡委員	担当委員間による打ち合わせ（6/27） 外国人人材の積極的な受入施設へのヒアリング（7/4）	施設長会での情報交換会（令和5年度）	2
②	多種多様な働き方（シニア層、障害者雇用等）をしている施設の紹介	岩壁副委員長	荒川委員	担当委員間による打ち合わせ（9/12） 障害者雇用についての事例報告（第4回委員会）		2
③	他都市の人材確保に成功した取組みについての情報収集、提供	塩原委員		「政令指定都市が実施している介護人材確保・定着事業について」 （第3回委員会資料）		1
④	他都市の新型コロナウイルスを踏まえた求人活動について					
人材育成・定着						
①	既に働いている職員を対象とした研修の検討や研修参加促進に向けた取組	神田委員	荻野委員	担当委員間による打ち合わせ（9/6, 12/16, 2/2）	介護人材の育成・定着に関するアンケートの実施 （令和5年度）	3
②	自施設での人材育成・定着に目を向けられるような施設長への働きかけ					
③	職員の負担軽減のための介護福祉機器・ロボットの導入について	吉野委員	荻野委員	川崎市複合福祉センターにて概要説明と福祉機器導入につい て情報交換（9/16） 展示相談会の開催（3/11）		2



## 報告 ハローワーク「福祉の仕事」説明会

### 1 ハローワーク「福祉の仕事」説明会

日 時：3月10日（金）13時30分～15時10分

会 場：①ハローワーク川崎（参加法人）馬島福祉会、母子育成会

②エポックなかはら（参加法人）美生会、セイワ、緑成会

参加者：①説明会24名（就職相談会15名）

②説明会24名（就職相談会7名）

(1) 川崎市社会福祉協議会（老人福祉施設協議会）について、福祉の仕事・資格の案内  
市内社会福祉施設の求人情報の提供

(2) 施設でのケアの実際

講師：人材プロジェクト委員会 小林施設長

(3) 福祉の現場からの声 ※施設、在宅

司会：人材プロジェクト委員会 伊藤施設長

【ハローワーク川崎会場】



【エポックなかはら会場】



### ※参考 説明会後に就職等に繋がった方の人数等

ハローワーク川崎南－就職2名、初任者研修受講1名

ハローワーク川崎北－面接（見学）6名、就職1名

※就職は協力施設に限らない

## 【今後の実施に向けた課題について】

(課題 1) 講話②「福祉の現場からの声」の施設の協力が少ない。

(課題 2) 第 1 部(説明会)、第 2 部(相談会)と区切ると、第 2 部に参加者が残らず帰ってしまう。

※課題 2 については、ハローワークと人材バンクにて検討してもらう

13:40	14:00	14:30	15:10	16:00
1 川崎市社協について	2 講話① 「施設でのケアの実際」	3 講話② 福祉の現場からの声 仕事内容ややりがいについて説明	4 就職相談会 参加施設の紹介	第 2 部 福祉の仕事 就職相談会
第 1 部 福祉の仕事 説明会				
福祉の仕事 説明会 相談会				

(変更案)

- ・講話 1 「施設でのケアの実際」について、予め録画した内容を流す。
- ・講話 2 「福祉の現場からの声」(施設で実際に働く職員へのインタビュー)についても協力施設が少ない等の理由により、予め録画した内容を流すことで対応する。  
(生の声の部分は当日、会場にいる人材プロジェクト委員が質疑応答することでカバーする)
- ・講話 2 の動画は質問内容を含めて新規に制作し、年齢層や職種など様々なケースに対応できるものとする。
- ・視聴する参加者へ配慮し、講話 1、2 とともに時間は短縮する。

### 【参考 1】令和 4 年度 参加法人・施設

※下線は人材プロジェクト委員等施設 波線は事務局から声掛けして参加

5/27 新緑の郷 セイワ 大師の里

7/ 8 しゃんぐりら おだかの郷 しゅくがわら 虹の里

9/16 伸こう福祉会 セイワ(幸風苑) 寿楽園 和楽会 美生会 虹の里

11/16 セイワ(桜寿園) 和楽会 しゃんぐりら おだかの郷 寿楽園 美生会 富士見プラザ

1/13 みんなと暮らす町 美生会 生田広場 セイワ(すみよし) 金井原苑

3/10 大師の里 しゃんぐりら 美生会 セイワ(すえなが) 新緑の郷

### 【参考 2】令和 4 年度 参加人数

ハローワーク川崎 ハローワーク川崎北

5/27 23 名 (※ハローワーク川崎会場で説明会のみ実施)

7/ 8 20 名 (就職相談会 12 名) 26 名 (就職相談会 23 名)

9/16 20 名 (就職相談会 5 名) 24 名 (就職相談会 6 名)

11/16 15 名 (就職相談会 15 名) 14 名 (就職相談会 6 名)

1/13 23 名 (就職相談会 6 名) 17 名 (就職相談会 8 名)

3/10 24 名 (就職相談会 15 名) 24 名 (就職相談会 7 名)

## 次年度の HW の前半部分（老施協人材プロジェクト委員会）について

○決まったこと

●次年度に向けて検討・協力をお願いしたいこと

### 【全体】

○これまでどおりハイブリッド開催とするが、

ハローワーク南をホスト会場に、もう一方の会場（パル・エポック）は視聴のみとする  
詳細については、下記参照

### 【講話 1】

○講話 1 については動画にする

●どなたに話していただくか、動画にする内容について検討が必要である

時間もあまりなく、おそらく新しい委員で一から内容を検討するのは難しいため、  
現行の担当委員や主催者である HW も含め検討する方が良いか？

もしくは施設長会（4/19）終了後に集まった際に検討するか

### 【講話 2】

○講話 2 については内容はこれまでどおりとするが、協力施設の参加方法をオンラインのみとする。

●協力施設

※これまで回数を重ね、あまり協力施設数が多いと 1 施設あたりの話していただく時間が短くなってしまい（せっかく協力していただくのに申し訳ない気持ちもあり）、また画面上に窓もたくさん出来てしまうため、協力施設数の検討が必要

（案）南と北あわせて 2～4 施設が良いのではないかと。多くなった場合には次回をお願いする

※課題になっていたとおり、協力施設が少ない or いなかった場合には人材プロジェクト委員の皆様へに近隣施設や同じ法人等への声掛けをお願いします。

協力施設をお願いする時間は

12:45～           ログイン（カメラ音声チェック）、

14:00～14:30   講話 2（福祉の現場からの声）※終了後、退出

●リハーサル

※新しい会場を毎回使用することになるため、開催日とは別に本番と同じ状況でのリハーサルを行う必要がある。（オンライン環境確認、当日レイアウト確認）

リハーサル参加者：人材プロジェクト委員、ハローワーク南・北、人材バンク、施設事業推進課

ハローワーク南の空き状況：ハローワーク南

パルの空き状況確認：施設事業推進課

委員さんとハローワークの日程調整：施設事業推進課

【その他】

●当日の役割分担

会場：ハローワーク南

(案) 機材借用：施設事業推進課が人材バンクに借りる

機材用意、セッティング：施設事業推進課、ハローワーク南

zoom 操作 (1 名)：ハローワーク南または人材プロジェクト委員 or (所属施設職員)

機材操作、マイク回し (1 名)：ハローワーク南または人材プロジェクト委員 or (所属施設職員)

講話②司会者：人材プロジェクト委員

会場：パル・エポック

(案) 機材借用：施設事業推進課が区社協に借りる

機材用意、セッティング：施設事業推進課、ハローワーク北

zoom 操作 (1 名)：ハローワーク北または人材プロジェクト委員 or (所属施設職員)

機材操作、マイク回し (1 名)：ハローワーク北または人材プロジェクト委員 or (所属施設職員)

※ただし、ハローワーク南についてはエリアが川崎区・幸区になってしまっているため、  
人材プロジェクト委員の役割分担は要検討 (回数が同数程度になるように役割分担する)

(案) 各委員に基本的には 1 回は協力していただき、下線部分は要検討 ※は会場

日程	委員 (南)	委員 (北)
5/19 (金)	川崎区人材プロジェクト委員 ※ハローワーク川崎	中原区人材プロジェクト委員 ※福祉パルなかはら
7/14 (金)	幸区人材プロジェクト委員 ※ハローワーク川崎	高津区人材プロジェクト委員 ※福祉パルたかつ
9/15 (金)	_____ ※ハローワーク川崎	_____ エポックなかはら
11/8 (水)	_____ ※ハローワーク川崎	宮前区人材プロジェクト委員 ※福祉パルみやまえ
1/19 (金)	_____ ※ハローワーク川崎	多摩区人材プロジェクト委員 ※福祉パルたま
3/8 (金)	_____ ※ハローワーク川崎	麻生区人材プロジェクト委員 ※福祉パルあさお

## 参加者募集

無資格・未経験から働き始めた方

### ハローワーク川崎・川崎北「福祉の仕事説明会」

# 福祉の現場からの声

50人近くのハローワークの求職者（福祉の仕事に関心のある方）が参加する説明会で福祉の仕事のやりがいを伝えてください。

福祉の仕事に興味はあるけど、今一歩前に踏み出せない方の背中を押せるのは、あなたしかいません。

資格がなくても、未経験でも働けることを皆さんに伝えましょう。

あなたの一言が、誰かの人生を変えるかもしれません。

福祉の仲間を増やしましょう。

簡単な質問形式なので、話すのが苦手な方でも大丈夫。

#### 主な質問内容

- ・介護の仕事を始めたきっかけ
- ・介護の仕事は大変か
- ・介護の仕事にやりがいを感じるか
- ・休暇の取りやすさ
- ・資格取得の支援



## ハローワーク川崎・川崎北 主催 「福祉のお仕事説明会」における広報啓発活動（概要）

### 1 日時

令和5年5月19日（金）午後1時30分～午後2時30分

※説明会終了後に参加事業者との座談会、就職相談会を行います。

### 2 会場

南部：ハローワーク川崎6階 大会議室（川崎区南町17-2）

北部：福祉パルなかはら 研修室（中原区今井上町1-34 和田ビル1階）

### 3 内容（求職者対象）

※2会場共通（メイン会場の映像をリモートで配信）

①川崎市社会福祉協議会（老人福祉施設協議会）について（10分）

福祉の仕事・資格の案内 ※川崎市社会福祉協議会 福祉部施設事業推進課

②施設でのケアの実際[講話]（20分）

③福祉の現場からの声（30分程度）

福祉の職場について、仕事内容ややりがいについて説明

④参加施設の紹介

### ●全体の流れ

13:30	13:40	14:00	14:30	15:00	16:00
①川崎市社協について	②講話 「施設でのケアの 実際」	③福祉の現場からの声 仕事内容ややりがい について説明	④就職相談会 参加施設の紹介・ 座談会	⑤福祉の仕事就職相談会	
人材プロジェクト委員会 協力					

※「福祉の現場からの声」にご参加いただくと、就職相談会に申込をされる際に優先させていただきます。

### 4 依頼内容

上記③の企画でハローワーク「福祉の仕事説明会」に参加される求職者を対象に、福祉の職場のことや仕事内容、やりがい等についてお話しただけの職員の参加

※各施設・法人より、無資格・未経験から働き始めた職員にご参加いただければと思います。また、施設の運営に携わる方にもご同席いただけますと幸いです。

（職員の方お一人でも可）

※オンライン（ZOOM）での参加をお願いする場合があります。



(昨年度の様子)



## 5 お問い合わせ

川崎市社会福祉協議会 福祉部 施設事業推進課 担当：鈴木

〒211 - 0053 川崎市中原区上小田中 6 - 22 - 5 川崎市総合福祉センター内

電話：044 - 739 - 8717 FAX：044 - 739 - 8737

メール：[shisetsu-dantai@csk-kawasaki.or.jp](mailto:shisetsu-dantai@csk-kawasaki.or.jp)



川崎市社協 福祉部 施設事業推進課 あて  
FAX：044-739-8737

【FAX、メール、右上の申込フォームによりお申込みをお願いします。】



## ハローワーク川崎・川崎北「福祉の仕事」説明会 参加申込書

(第1回) 令和5年5月19日(金) 13:30~14:30 申込締切 4月28日(金)

会場：ハローワーク川崎6階 大会議室 / 福祉パルなかはら 研修室

施設名 または 法人名	(記入者： )		
参加 方法	オンライン (ZOOM) での参加は可能ですか？ (○をおつけください) ※ZOOMでの参加をお願いする可能性があります  はい                      ・                      いいえ		
参加者	※入職約3年以内の職員や無資格・未経験から働き始めた職員の方のご参加 をお願いします。また、施設の運営に携わる方もご同席ください。 (職員の方お一人でも可)		
	入職約3年以内 又は無資格 未経験の方	(氏名・ふりがな)	(職名)
	同席者	(氏名・ふりがな)	(職名)
連絡先	※当日連絡がつく連絡先をご記入ください。		
通信欄	※何かご不明な点等ございましたらご記入ください。		

※参加申込施設・法人あてには、改めてご連絡させていただきます。

### 【申込・問合せ先】

川崎市社会福祉協議会 福祉部 施設事業推進課 担当／鈴木  
電 話：044-739-8717 FAX：044-739-8737  
メール：shisetsu-dantai@cs-w-kawasaki.or.jp



## 介護人材の育成・定着に関するアンケートについて（案）

### 1 目的

介護人材の離職の問題について、市内の施設職員の現状を調査し、結果を各施設に情報共有することで、職場環境の改善等を図り、介護人材の定着に寄与する。

### 2 対象者

市内の介護老人福祉施設等の職員

### 3 実施方法

①Google フォームを使用

②無記名アンケートとし、広く周知する

※「メールアドレスを取得しない」という項目にチェックすると無記名になる

### 4 実施時期【想定される流れ】

人材プロジェクト委員会で確認（3/15）

→ 正副会長会議で了承を得る。（4/6）

→ 施設長会での周知（4/19）

→ アンケート実施（4/ ）

→ 締切・集計（5/ ）

→ 報告（人材PJ→正副→施設長会）

### 5 質問項目

・介護人材不足や離職理由を意識し、負担とならないよう設問は控える

## 職員アンケート

介護人材の確保・定着について、今後の対策を考えるにあたり、  
現任職員のみなさまより率直なご意見等をいただきたく、無記名アンケートを  
実施することとなりました。

アンケートの所要時間は【5分ほど】となっております。設問数は9問です。

備考欄に、改善に向けた提案や疑問など、是非、ご記入をお願いします。

ご回答はこちらよりお願いいたします。

ORL と QR コード

いただいた回答や個人情報は、〇〇のプライバシーポリシーに従い、厳重に保管いたします。

- 1 福祉・介護のイメージは就労前後で変わりましたか  
はい      いいえ  
(どのように変わりましたか)
- 2 仕事にやりがいや楽しさを感じていますか  
はい      いいえ      (フリーアンサー欄)
- 3 困った時に、管理者や先輩職員に相談、アドバイスを求めることができますか  
はい      いいえ      (フリーアンサー欄)
- 4 研修等の学習の機会、スキルアップの場を得ることができますか  
はい      いいえ      (フリーアンサー欄)
- 5 問題や課題について、アイデアや意見を出し合い、職員間で協力し合うことはできますか  
はい      いいえ      (フリーアンサー欄)
- 6 仕事とプライベートの両立に必要な時間や休暇を確保できますか  
はい      いいえ      (フリーアンサー欄)
- 7 介護負担軽減のための福祉用具や福祉機器、介護ロボットの導入についてどう考えますか  
(フリーアンサー欄)
- 8 介護人材の確保・定着について、一番必要なものは何だと思えますか  
A 給料・福利厚生      B 研修の充実・キャリアアップ支援      C 職場の雰囲気  
D ICT等の積極的導入(福祉機器やコミュニケーションロボット等)      E その他
- 9 介護人材の確保・定着について、必要と思う改善点や意見等ありましたら記入をお願いします

お忙しい中、ご協力いただき ありがとうございます。

福祉施設の職員不足を解消したい！

4月〇〇日  
締切

# 職員の 本音 大募集！

介護職員の育成・定着を考えるうえで一番大切な皆さまの声、本音を聞かせてください。  
設問は9問、無記名のアンケートです。本人の特定等はいたしませんので、ご安心ください。

## 1 実施アンケートについて

川崎市内の老人福祉施設で組織する協議会の中の「人材プロジェクト委員会」による  
人材育成・定着に関する基礎調査です。

- ◇ 解消されない福祉職場の職員不足。  
様々なアンケートの結果は「本音」なの？
- ◇ 大切にしたい職員の「本音」を聴く場面を  
作りたい！ でも、..
- ◇ 無記名アンケートを実施してみよう！



アンケート



<https://onl.la/7WfsLfn>

## 2 アンケートの活用手順



### 手順 1

QRコードまたは、(URL) より、  
アンケート画面 (Googleフォーム) へ入る

### 用途

集計結果を施設長会にて共有

### 手順 2

アンケートに回答、送信する  
設問は9問、5分程度の内容です。

### 手順 3

終了です。ご協力、ありがとうございました！

- ◇ 各法人・施設での人材育成に活用
- ◇ 人材プロジェクト委員会事業に反映
- ◇ 社会福祉協議会事業に反映  
(福祉人材バンク・総合研修センター)  
など

## 情報交換について

### 1 情報交換について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成 30 年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士等で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく 30 分程度（目安）の情報交換を実施します。

#### （1）会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

#### （2）正副会長等会議において、会員施設から集約した情報交換テーマを確認し、施設長会での情報交換テーマを検討します。

#### （3）施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。

各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

### 2 スケジュール

#### 今後のスケジュール（施設長会と同日だった場合の予定）

令和 5 年	6 月	■施設長会（ 6/21 ） ※情報交換を実施（2 回目）
	7 月	□情報交換テーマの募集 （7 月中旬頃）
	8 月	■施設長会（ 8/23 ） ※情報交換を実施（3 回目）
	9 月	□情報交換テーマの募集 （9 月中旬頃）
	10 月	■施設長会（10/18） ※情報交換を実施（4 回目）
	11 月	□情報交換テーマの募集 （11 月中旬頃）
	12 月	■施設長会（12/20） ※情報交換を実施（5 回目）
6 年	1 月	□情報交換テーマの募集（ 1 月中旬頃）
	2 月	■施設長会（ 2/21 ） ※情報交換を実施（6 回目）

### 3 令和5年度第1回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：「災害について」

内 容：①各区の班長、副長について

②災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム（通称 E-Welfiss）を活用した情報伝達訓練及び物資移送訓練等について（案）

③その他

#### 【参考】これまでの情報交換テーマ一覧

令和3年度

6月16日	アフターコロナの施設運営について
8月25日	新型コロナウイルス感染症への対応について
10月20日	With コロナの施設運営について
12月15日	科学的介護情報システム「LIFE」について
動画配信	介護職員処遇改善支援補助金について

令和4年度

6月15日	施設におけるコロナ対応について～第6波終了の今、第7波に備えて～
8月25日	新型コロナウイルス第7波における各施設の課題、問題点、各施設との連携方法
10月19日	I C T機器の導入について
12月21日	【中間報告】第3回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2月15日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

**記録 情報交換会**  
**「施設運営における補助金の有効活用について**  
**～大規模修繕・コロナ対策など～」**

**1 日 時**

令和5年2月15日（水）施設長会議終了後

**2 参加施設**

14施設

幸区－夢見ヶ崎、みんなと暮らす町、しゃんぐりら

高津区－すえなが、養護すえなが、山桜の森

宮前区－鷲ヶ峯、富士見プラザ

多摩区－多摩川の里、生田広場、しゅくがわら

麻生区－潮見台みどりの丘、柿生アルナ園、金井原苑

※参加人数が少なかったため、グループ分けは行わず、全体で情報交換を行う

**3 内 容**

①話題提供（補助金の種類 等）

②情報交換（グループ分けはランダム）

- ・各種補助金に関する情報交換
- ・各施設の補助金の申請状況について
- ・補助金の活用の事例・具体的な効果について 等

③その他

※終了後にアンケートの記入をお願い

**4 情報交換**

- ・「川崎市実務者研修受講・就労促進事業補助金」を直近で活用した。

川崎市内で必要な介護人材は決まっているので、従事者が少ないという課題はあるが、施設として“職員育成”をしっかりと備えていかなければならない。

また、資格取得につながることで、最上位加算にもつながるようになる。

- ・希望的観測にはなるが、高校生等の短時間パートを雇用する際に500円程度でも補助金として出せる仕組みがあると、他分野よりも高い料金設定が可能になる。

そもそも施設内でどんなことをしているのかわからない、まずは施設に入ってもらって、施設でどんなことをしているのかを見てもらう。

実際をお願いする作業はゴミ出しやおむつ補充、軽作業になるが、その横で職員が食事介助や認知症の方へ声掛けしている様子を見てもらうだけでも介護の良さをアピールできるのではないかと。働く時間を考えると近所や地元の方になると思うので、市内全施設が平等に出来るようなルール作りがあると良いのではないかと。介護の仕事を身近に感じてもらえる取組み、働きかけが組織として大切である。

- ・ 2 時間パートを考えており、今のお話は参考にさせていただこうと思った。  
補助金については、種類もたくさんあり、内容も複雑で、そして行政の所管課もそれぞれ異なる中で、何をどこに聞けば良いかわからない状態だと思う。  
施設や法人で事務局が確立されていれば読み込めるが、実際は各施設で情報収集しているの、施設や法人の垣根を越えて今日のように情報共有できる機会はありがたい。
- ・ 資料の中で実際に使っている補助金があるが、おっしゃるとおりそれぞれ所管課が異なり、また市内だけではなく神奈川県のものもあり、1 つ 1 つの補助金を読み込み、所管課と何回もやり取りが必要になっている。
- ・ 事業者選定をする際に、市内事業者を選定するのが 1 つのハードルになっており、市内事業者ではやりきれない部分や金額的にも市外事業者で安く出来る部分もある場合があるので、その際には特例として認めて欲しい。
- ・ 事務処理に費やす時間が限られている中で、本当に多くのメールや連絡が施設にはきている。その中でクラスター等もあつたりすると、補助金申請の書類を整えるにもかなりの労力が必要になるので、補助金申請に係る事務を少しでも軽減していただけるとありがたい。
- ・ コロナの「サービス提供体制確保事業補助金」を使ったが、これも読み込まないと自施設がどこに該当するのか、わかりづらい部分がある。  
また、短時間パートを雇用する際の補助金の話も出ていたが、実態調査の結果を見ても川崎市は人件費率が他都市に比べて高く、東京都と同じぐらいになっている。  
東京都の特養は東京都だけの補助金が出ているので、川崎市もそういったもの考えても良いのではないかな。
- ・ 法人で横並びのものと各施設で対応しているものがある。  
今回の物価高騰の補助金申請の手続きは他の補助金に比べると簡素化されたものであり、非常にありがたかった。補助金の趣旨を考えれば、他のものも簡素化していただけると法人や施設は助かる。  
また、資格取得にかかる補助金については、人数の枠が決まってしまうので、もう少しこれも拡充していただけると助かる。
- ・ 法人で建築士に相談出来るような体制になっており、大規模修繕や工事等の際にはアドバイスをいただけるようになっている。大規模修繕や非常用自家発電設備を現在進行形で進めているが、世界情勢で物が手に入りにくい等の影響があり、そういったものを鑑みて工期を考慮していただければと思います。
- ・ 資料の中で実際に使っている補助金があるが、やはり皆さんが仰られたとおり、書類申請等が煩雑である。また申請済みでも資金が調達出来ないものもある。  
予備調査→申請になった際の周知を広く行っていただきたい。クラスターの際に応援スタッフをシグマスタッフにお願いしたが、自施設の場合には派遣していただくことは出来なかった。記載している文言と現実乖離している部分があるのではないかな。

- ・今日のテーマ「補助金」については困っている部分が各施設あると思うので、情報共有できる機会が今後もあると良いと思う。
- ・法人本部が市外にあるため、皆様と同様に施設で補助金等の情報を集めている。  
「サービス提供体制確保事業補助金」については2回申請したが、1回は川崎市に説明したものを再度国に説明しなければならないところがあり、非常に手間がかかったという印象である。行政も大変な部分があると思うが、事務手続きは簡素化してもらえるとありがたい。
- また、神奈川県「介護ロボット導入支援事業補助金」を施設として活用している。
- ・補助金の所管課の職員により微妙に解釈が異なる部分があり、誰でも同じ回答をしていただくことで、施設側の事務手続きの煩雑さが少しは減るのかなと思いました。
- また、川崎市の「研修受講時における代替職員の派遣」については、実際はシグマスタッフが行っているが、これは派遣料等を市が負担してくれるので助かっている。
- ・補助金の種類として施設等のハード関係のもの、人材関係のものなどあるが、本日の情報交換で色々なことを聞いたので、貴重な時間になった。
- 新しい人材を確保することや育成するためのメニューはもちろんあって良いと思うが、既に施設で働いている職員に向けての家賃補助等の何かメニューがあっても良いのではないかなと思う。衣食住が安定すると職員定着にもつながると考えられる。
- また、先程もお話が出ていたが、大規模修繕を行う業者選定の際に、どうしても市内事業者では難しい場合もあり、柔軟に対応できる補助金になっていくと今後活用する施設がやりやすいのではないかなと思う。 等

## 5 アンケート

### ○今回の情報交換会についてのご意見及びご感想をご記入ください。

- ・各施設の取得状況等、聞いて良かった。
- 特に、研修受講時の代替職員の派遣について、今回聞かなければ、使ってみようと思わなかったと思う。
- ・川崎市内（南北）の多様な法人の現状や取組みを伺うことができ、大変参考になりました。
- また、新しい発想も興味深く、提案することも大切なことだと改めて認識しました。
- いずれも今後の参考にさせていただきます。話題提供のまとめ、ありがとうございます！
- ・今回は12名の参加となり、一人一人の発言により、個々の施設が抱える課題を把握することができた。やや一方通行であったため、グループ分けのほうが良かった。
- ・今回は情報交換の時間が多く、有意義なお話を伺うことが出来た。
- また、進行が事務局だったこともあり、スムーズな情報交換だった。



**○次回以降の施設長会の情報交換で取り上げたいテーマがございましたら、希望されるテーマ及び理由、施設での現状等をご記入ください。（情報交換会の形式など）**

- ・ 上記本日のテーマについての続編というわけではないのですが、日常の“メレメレス”についても、何か工夫があれば知りたいところでした。（施設長会ではなくてもよいのですが）
- ・ “新型コロナ対策”緩和に向けて、面会等の対応の考え方を共有したいです。
- ・ 最低賃金の上昇に伴う、パート職員の時給設定について
- ・ グループ分けについて、当日その場で知らされるのではなく、議題や資料をメール送信される際に、グループメンバーが分かるようにして欲しい。進行役もあらかじめ指名するのがスムーズに運ぶと思う。

**【過去のアンケート結果等でのテーマ】**

- ・ 外国人介護人材について
- ・ 財源の担保に関わるテーマ（扱いが一筋縄では行かないので、情報交換には適さないのであれば、何のテーマでも結構です）
- ・ B C P 計画の策定と具体的な運用について
- ・ 大規模修繕や備品の更新などについての補助金の使い方について、情報交換かレクチャーを受けたい。
- ・ 補助金を活用している施設の話
- ・ 経費削減についての取り組み状況、アイデアがあれば知りたい。
- ・ 補助金の活用 設備の更新など

神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会  
課題別部会の設置について (案)

1 設置目的等

神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会（以下、「県老施協」という。）は、県内の老人福祉施設が直面する課題の状況把握や対応方法の検討を行うため、次の課題別部会（以下、「部会」という。）を設置する。

(1) 施設運営に関する部会

- ア 4ブロックにおける施設経営実態や運営上の課題について情報共有を行う。
- イ 情報共有をもとに、全県協働の課題や喫緊の課題に関する4ブロック共通項目での調査の実施や訴求活動の実施について検討や提案を行う。

(2) 人材確保等に関する部会

- ア 4ブロックの人材確保・育成状況等の実態を共有する。
- イ 4ブロックの人材確保・育成等に向けた対策・施策を共有する。
- ウ 個別の法人・施設単独では実施が難しい講演会や就職相談会など、施設連携のもと全県協働により推進可能な事業の検討や提案を行う。

(3) 災害対応に関する部会

- ア 4ブロックにおける行政との連携等の災害対応状況について情報を収集し共有する。
- イ 各施設単位での自助（BCP：事業継続計画、BCM：事業継続マネジメント）の取り組みを確立できるよう研修会の検討や提案を行う。
- ウ 自助の取り組みを確立した上で、共助による災害対応の在り方について検討する。

2 構成員

各部会には担当副会長を定め、4ブロックから推薦されたメンバーで構成する。なお、規定の人数を推薦することが難しい場合は最低1名を推薦するものとする。

会議名	推薦人数
施設運営に関する部会	2名
人材確保等に関する部会	2名
災害対応に関する部会	2名

3 リーダー

各会議に担当副会長とは別にリーダー1名を置き、会議を進行する。

4 招集

会議は担当副会長の求めに応じ、県老施協会長が招集する。

5 任期

老人福祉施設協議会委員（2年）に準ずるものとし、老人福祉施設協議会委員の改選と併せて各ブロックから推薦を行う。各ブロックからの推薦にあたっては、再任を妨げない。



## ◆第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会 Twitter



第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会  
(@K\_KoureiTaikai)

参加者募集や、大会開催に関するご案内、プログラム紹介等を行っていきます！

## ◆第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会ホームページはこちら



かながわ高齢大会 で検索！

大会開催に関するご案内・お知らせを随時更新します。

参考：第 21 回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会の予定

第 4 回実行委員会：4 月 27 日（木）10 時～ 神奈川県社会福祉センター

第 5 回実行委員会：6 月 15 日（木）10 時～ 崎陽軒本店

## 令和 5 年度 関東ブロック老人福祉施設連絡協議会 第 1 回代表者会に係る議事報告

日 時：令和 5 年 4 月 3 日（月） 15 時から 16 時

会議形式：Zoom によるオンライン会議

参 加 者：清水会長、事務局（和田課長、鈴木、金子）

### 1 開 会 事務局

### 2 会長挨拶 田邊会長（千葉県） 東京都の今副会長が退任され、後任に細井副会長が選任

### 3 議長選出 田邊会長（千葉県） 定足数の確認 会議は成立 令和 5－6 年度役員の選出については次回扱う

### 4 議事録署名人 神奈川県 加藤会長 新潟県 松井副会長

### 5 議 事 議案第 1 号 令和 4 年度一般会計収支補正予算（案）について 事務局から説明後、承認 議案第 2 号 令和 5 年度事業計画（案）について カンントリーミーティングについては名称変更があるが詳細不明のため計画から除く 議案第 3 号 令和 5 年度一般会計収支予算（案）について 事務局から説明後、承認 議案第 4 号 令和 5 年度グループ別活動費助成要項（案）及び令和 5 年度都県市事業活動 費助成要項（案）について 事務局から説明後、承認

### 6 報告事項 （1）令和 4 年度グループ別活動助成金について （2）令和 4 年度都県市事業活動費助成金について

### 7 その他 ○厚労省 社会保障審議会について（群馬県 古谷会長） 報酬改定のため令和 5 年度経営実態調査を実施するが、令和 4 年度の実績で算定するため 物価高騰の影響が弱い。光熱水費・燃料費等の高騰に伴う影響について緊急アンケートを 実施することとなった。 ○第 58 回関東ブロック老人福祉施設研究総会（群馬県大会）のご案内

メインテーマ

## 現場改革・科学的介護

～仲間と共に新しい未来を切り拓こう～

### 開催趣旨

団塊の世代が75歳以上となる2025年が目前に迫り、医療や介護の需要が一段と高まることが予測され大きな社会的課題となっています。令和6年度には介護報酬改定も控え、科学的介護の推進、生産性の向上等取り組むべき課題は山積しています。

人材不足や大幅な物価高騰そして新型コロナウイルス感染症対応で各施設・事業所の経営は、今までにない厳しい状況です。

このような中でも、日夜、介護・福祉の現場で研鑽を積み重ねた職員が培ってきた様々な取り組みを共有することで、質の高い介護技術とサービス向上へと繋げ、これからの高齢者福祉をさらに発展させていくことが大切です。

本大会は3年ぶりの対面開催となります。新型コロナウイルスによって希薄となった仲間との横のつながりを取り戻し、職員の人材育成や定着率の向上、また、ICTを積極的に活用しながら生産性の向上にも寄与できるような情報を発信する大会として開催します。

### 開催期日

令和5年9月13日（水）～14日（木）

### 会場

全体会・分科会 Gメッセ群馬

〒370-0044 群馬県高崎市岩押町 12-24 Tel:027-322-2100

### 主催

公益社団法人全国老人福祉施設協議会

関東ブロック老人福祉施設連絡協議会

一般社団法人群馬県老人福祉施設協議会

### 後援（予定）

群馬県

高崎市

社会福祉法人群馬県社会福祉協議会

参加費
-----

12,000円

大会スケジュール（予定）
--------------

<令和5年9月13日(水)>

◎全体会

11:30～12:20	受付
12:20～12:50	オープニングアトラクション 調整中
13:00～13:50	開会式典 ・開会のことば ・主催者あいさつ ・感謝状贈呈 ・来賓祝辞 ・主催者紹介 ・閉会のことば
14:00～14:30	基調報告 公益社団法人全国老人福祉施設協議会
14:30～15:00	行政報告「令和6年度介護報酬改定について」（仮題） 厚生労働省（依頼中）
15:15～16:15	記念講演 演題「次に晴ればそれでいい」（仮題） 講師 スポーツキャスター 荻原 次晴 氏
16:20～16:30	次回開催県紹介（長野県）
16:30	終了

<令和5年9月14日(木)>

◎分科会

9:00～9:30	受付
9:30～12:30	分科会（分散会）
12:30	終了

●分科会テーマ

①	第1分科会	第1分散会	【認知症対応/医療・介護連携、看取り】
②		第2分散会	【自立支援(リハビリテーション)・機能訓練、口腔、栄養】
③	第2分科会	【経営】	
④	第3分科会	【人材】	
⑤	第4分科会	【在宅・デイ】	
⑥	第5分科会	第1分散会	【軽費老人ホーム・ケアハウス】
⑦		第2分散会	【養護老人ホーム】

# 【各都県市参加目標人員】

都県市名	第57回山梨県大会(オンライン)		第58回群馬県大会
	目標人員	参加者数	目標人員
茨城県	60	27	70
栃木県	40	19	50
埼玉県	60	23	50
さいたま市			
千葉県	60	37	90
千葉市			
東京都	90	52	90
神奈川県	90	104	70
横浜市			
川崎市			
相模原市			
新潟県	50	21	90
新潟市			
山梨県	300	228	40
長野県	20	10	30
静岡県	70	60	80
静岡市			
浜松市			
群馬県	60	38	300
合計	900	619	960

※会員施設数の3割を基に目標数を設定

■第58回群馬大会 都県市テーマ依頼数一覧

NO	地区	依頼数	第1分科会		第2分科会 【経営】	第3分科会 【人材確保・ 育成・定着】	第4分科会 【在宅・デイ】	第5分科会	
			第1分散会 【認知症対応 / 医療・介護連携、 看取り】	第2分散会 【自立支援（リハ ビリテーション・ 機能訓練、口腔、 栄養）】				第1分散会 【軽費老人ホーム・ ケアハウス】	第2分散会 【養護老人ホーム】
1	茨城県	5	1	1	1	1			1
2	栃木県	5	1		1		1	1	1
3	埼玉県	4	1		1		1	1	
4	さいたま市	1				1			
5	千葉県	4		1		1	1		1
6	千葉市	2		1	1				
7	東京都	4		1		1	1	1	
8	神奈川県	4	1		1		1		1
9	横浜市	2	1					1	
10	川崎市	1	1						
11	相模原市	1				1			
12	新潟県	4		1		1	1	1	
13	長野県	4	1	1	1				1
14	静岡県	4		1	1	1		1	
15	山梨県	4	1			1	1		1
16	群馬県	5		1	1		1	1	1
発表数計		54	8	8	8	8	8	7	7

※ 発表時間は15分です



## 分科会・分散会内容

	分科会	分散会	テーマ	趣旨	発表例
1	第1分科会	第1分散会	認知症対応 / 医療・介護連携、看取り	一人の人として尊重し、心のケアはもちろん、なじみのある人間関係・生活環境の重視、状態変化に対応した専門的ケアと本人の意思を重視したケアを推進する。  本人が望む「生き方」に基づき、人生の最終段階における医療・ケアの在り方を考察する。また、多様化・重度化する医療ニーズに対して、各職種が連携して取り組む。	①パーソン・センタード・ケアの取組 ②BPSDに対応した取組 ③認知症の予防・コミュニケーション改善の取組  ①ACPの実践に基づいた看取りの取組 ②医療的なケアの実践と改善 ③介護と医療の連携による実践
2		第2分散会	自立支援（リハビリテーション機能訓練、口腔、栄養）	科学的介護に基づき、できる限り自分の意思や力で身体的・精神的・社会的な自立生活を送ることができるようサポートする。  口腔機能の向上は、健康維持の第一歩。多くの疾患の発症を予防し、その人らしい生活の満足感を得ることにつながる。	①リハビリによるADL・QOL向上の取組 ②身体的・精神的・社会的な自立への取組 ③科学的介護の実践  ①器質的・機能的な口腔ケアの取組 ②健康維持や疾患予防の効果 ③経口摂取の工夫と栄養ケアマネジメントの取組
3	第2分科会		経営	施設運営において、様々な課題や問題が山積する中、新時代に即した対応が求められている。変革期を迎えた介護における使命や存在意義について共有する。	①感染症対策の取組 ②災害・防災対策の取組 ③集客アップの独自の取組 ④地域貢献の取組 ⑤生産性向上のための取組
4	第3分科会		人材	介護人材の不足と外国人雇用等による介護人材の多様化が進む中、質の高いサービス提供体制の維持や介護実践力の向上を目的とした活動事例を共有する。また、介護人材の確保、育成、定着を実現するための様々な取組みを学ぶことにより、今後の事業運営に反映させる。	①人材の採用・定着に関する取組 ②魅力ある職場づくりの取組 ③ICTを活用した職場環境の取組 ④職員のスキルアップの取組 ⑤外国人介護人材の取組
5	第4分科会		在宅・デイ	地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護、医療、予防、住まい、生活支援等が相互に関係し、連携するための体制構築が課題となっている。それぞれの役割を理解し、共有することで、多様化・複雑化する在宅介護を支えていく。	①在宅サービス全般の取組 ②地域ネットワークの取組 ③多職種連携の取組 ④科学的介護の取組
6	第5分科会	第1分散会	軽費老人ホーム・ケアハウス	地域包括ケアシステムの構築を目指している社会動向の中、軽費ケアハウスの存在意義が重要になっている。様々な事情を抱える方の対応や社会資源との連携について共有することで、積極的な支援につなげる。	①処遇困難者への取組 ②重度化が進む入居者へ対しての自立支援 ③自治体等との連携、認知度向上の取組
7		第2分散会	養護老人ホーム	地域包括ケアシステムの構築を目指している社会動向の中、養護老人ホームの存在意義が重要になっている。様々な事情を抱える方の対応や社会資源との連携について共有することで、積極的な支援につなげる。	①養護老人ホームの重度化への取組 ②地域との関わり・地域貢献・総合事業の取組 ③施設整備、運営管理の取組